

2019 年度 第 1 回 単位互換・^{みやこ}京カレッジに関する事務担当者会議

次 第

日時：2019 年 7 月 12 日（金）

14：00～16：00

場所：キャンパスプラザ京都
第 1 会議室

I 開 会

II 単位互換・^{みやこ}京カレッジ共通の確認事項

1. 2020 年度プラザ科目の学年暦について <資料 1>
2. 教務事務に関する事務連絡について <資料 2>

III 単位互換事業に関する確認事項

1. 2019 年度単位互換の出願状況について <資料 3>
2. 2019 年度「京都世界遺産 PBL 科目」の出願状況について <資料 4>
3. 単位互換事業にかかわる連絡事項について <資料 5><資料 6><別冊ガイド>
4. 京都ミュージアム PBL 科目の開設について<資料 7>

IV ^{みやこ}京カレッジ事業に関する確認事項

1. 2019 年度京カレッジの出願状況について <資料 8>
2. 2019 年度京カレッジ後期出願について <資料 9>
3. 2020 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助金」の公募について <資料 10>

V その他

1. 大学コンソーシアム京都におけるリカレント教育の推進方針と検討委員会の発足について<資料 11>
2. 報告事項等について<別紙>

VI 閉 会

以 上

2020 年度プラザ科目学年暦の基本方針について

2020 年度における単位互換及び京カレッジに提供される科目で、キャンパスプラザ京都にて開講するプラザ科目については下記の基本方針に基づき、別紙のとおり「学年暦」を定める。

＜基本方針＞

1. 開講日について

キャンパスプラザ京都の休館日である月曜日を除く火曜～日曜の間で開講する。

2. 開講期間について

前期及び後期の「授業期間」と「定期試験期間」を設け、原則この期間で授業及び試験を行う。

3. 授業回数について

授業回数は、前期・後期ともに原則同一曜講時に 15 回の授業回数を確保する。また、集中講義においては、集中講義期間中に単位数に応じた授業回数を確保する。

4. 「補講」について

休講が発生した場合、補講日や学生の都合に応じた日に振り替えるなど、学生の不利益にならないように配慮する。なお、キャンパスプラザ京都の教室使用状況もあることから、補講をする場合は必ず単位互換担当者と相談すること。

5. 成績評価について

成績は、科目開設大学の方針に基づいて、学年暦に定める授業期間に、単位修得の基準となる授業回数を開講した上で、「定期試験」「レポート試験」等から評価する。各科目の成績評価の方法（基準）については、シラバスで提示する。

＜参考＞ 大学設置基準

（単位）

第二十一条 各授業科目の単位数は、大学において定めるものとする。

2 前項の単位数を定めるに当たっては、一単位の授業科目を四十五時間の学修を必要とする内容をもつて構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

一 講義及び演習については、十五時間から三十時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。

二 実験、実習及び実技については、三十時間から四十五時間までの範囲で大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、大学が定める時間の授業をもつて一単位とすることができる。

三 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前二号に規定する基準を考慮して大学が定める時間の授業をもつて一単位とする。

3 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（昭四五文令二一・全改、平三文令二四・旧第二十五条繰上・一部改正、平一九文科令二二・一部改正）

（一年間の授業期間）

第二十二条 一年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、三十五週にわたることを原則とする。

（平三文令二四・旧第二十七条繰上・一部改正）

（各授業科目の授業期間）

第二十三条 各授業科目の授業は、十週又は十五週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

（昭四八文令二九・追加、平三文令二四・旧第二十八条の二繰上・一部改正、平二五文科令一三・一部改正）

2020年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		①	①	①	①	①
12	13	14	15	16	17	18
①	②	②	②	②	②	②
19	20	21	22	23	24	25
②	③	③	③	③	③	③
26	27	28	29	30		
③	④	④	④			

4/7 前期講義開始日

4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					④	④
3	4	5	6	7	8	9
				⑤	⑤	⑤
10	11	12	13	14	15	16
④	⑤	⑤	④	⑥	⑥	⑥
17	18	19	20	21	22	23
⑤	⑥	⑥	⑤	⑦	⑦	⑦
24	25	26	27	28	29	30
⑥	⑦	⑦	⑥	⑧	⑧	⑧
31						
⑦						

5/3 憲法記念日、5/4 みどりの日

5/5 こどもの日、5/6 振替休日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		⑧	⑦	⑨	⑨	⑨
7	8	9	10	11	12	13
⑧	⑨	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩
14	15	16	17	18	19	20
⑨	⑩	⑨	⑪	⑪	⑪	⑪
21	22	23	24	25	26	27
⑩	⑪	⑩	⑫	⑫	⑫	⑫
28	29	30				
⑪	⑫					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			⑪	⑬	⑬	⑬
5	6	7	8	9	10	11
⑫	⑬	⑫	⑭	⑭	⑭	⑭
12	13	14	15	16	17	18
⑬	⑭	⑬	⑮	⑮	⑮	⑮
19	20	21	22	23	24	25
⑭	⑮	⑭				補
26	27	28	29	30	31	
⑮	補	⑮	試	試		

7/30～8/5 前期試験期間(8/7 試験予備日)

7/23 海の日

7/24 スポーツの日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						試
2	3	4	5	6	7	8
試		試	試		試	
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8/6～9/20 集中講義期間

8/7 試験予備日

8/10 山の日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
			①	①	①	①
27	28	29	30			
①	①	②				

9/23 後期講義開始日

9/21 敬老の日

9/22 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				②	②	②
4	5	6	7	8	9	10
②	②	③	③	③	③	③
11	12	13	14	15	16	17
③	③	④	④	④	④	④
18	19	20	21	22	23	24
④	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
25	26	27	28	29	30	31
⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
⑥			⑦	⑦	⑦	⑦
8	9	10	11	12	13	14
⑦	⑥	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
15	16	17	18	19	20	21
⑧	⑦	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
22	23	24	25	26	27	28
⑨	⑧	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
29	30					
⑩						

11/3 文化の日

11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		⑨	⑪	⑪	⑪	⑪
6	7	8	9	10	11	12
⑪	⑩	⑫	⑫	⑫	⑫	⑫
13	14	15	16	17	18	19
⑫	⑪	⑬	⑬	⑬	⑬	⑬
20	21	22	23	24	25	26
⑬	⑫					
27	28	29	30	31		

12/23～1/4 講義休止期間

1月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
		⑬	⑭	⑭	⑭	⑭
10	11	12	13	14	15	16
⑭	⑭	⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
17	18	19	20	21	22	23
⑮	⑮	試	試	試	試	試
24	25	26	27	28	29	30
試	試					
31						

1/5 講義再開

1/20～1/26 後期試験期間

1/28 試験予備日

1/1 元日、1/11 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

2/11 建国記念の日

2/23 天皇誕生日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

3/20 春分の日

- ・①～⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講、「試」は試験を表す。
- ・前期:4月7日(火)～7月29日(水) 試験期間:7月30日(木)～8月5日(水)
- ・後期:9月23日(水)～1月19日(火) 試験期間:1月20日(水)～1月26日(火)

2019年度プラザ科目学年暦

4月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
①		①	①	①	①	①
14	15	16	17	18	19	20
②		②	②	②	②	③
21	22	23	24	25	26	27
③		③	③	③	③	③
28	29	30				
④						

4/7 前期講義開始日

4/29 昭和の日

5月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
		④	④	④	④	④
12	13	14	15	16	17	18
⑤		⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
19	20	21	22	23	24	25
⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
26	27	28	29	30	31	
⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	

5/3 憲法記念日

5/4 みどりの日

5/5 こどもの日

5/6 振替休日

6月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						⑦
2	3	4	5	6	7	8
⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	10	11	12	13	14	15
⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
16	17	18	19	20	21	22
⑩		⑩	⑩	⑩	⑩	⑩
23	24	25	26	27	28	29
⑪		⑪	⑪	⑪	⑪	⑪
30						
⑫						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
		⑫	⑫	⑫	⑫	⑫
7	8	9	10	11	12	13
⑬		⑬	⑬	⑬	⑬	⑬
14	15	16	17	18	19	20
⑭		⑭	⑭	⑭	⑭	⑭
21	22	23	24	25	26	27
⑮		⑮	⑮	⑮	⑮	⑮
28	29	30	31			
試		試	試			

7/28～8/3 前期試験期間(8/6 試験予備日)

7/15 海の日

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				試	試	試
4	5	6	7	8	9	10
		試				
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8/4～9/20 集中講義期間

8/6 試験予備日

8/11 山の日

8/12 振替休日

9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
						①
22	23	24	25	26	27	28
①		①	①	①	①	②
29	30					
②						

9/21 後期講義開始日

9/16 敬老の日

9/23 秋分の日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		②	②	②	②	③
6	7	8	9	10	11	12
③		③	③	③	③	④
13	14	15	16	17	18	19
④		④	④	④	④	⑤
20	21	22	23	24	25	26
⑤			⑤	⑤	⑤	⑥
27	28	29	30	31		
⑥		⑤	⑥	⑥		

10/14 体育の日

11月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					⑥	⑦
3	4	5	6	7	8	9
		⑥	⑦	⑦	⑦	⑧
10	11	12	13	14	15	16
⑦		⑦	⑧	⑧	⑧	⑨
17	18	19	20	21	22	23
⑧		⑧	⑨	⑨	⑨	
24	25	26	27	28	29	30
⑨		⑨	⑩	⑩	⑩	⑩

11/3 文化の日

11/4 振替休日

11/23 勤労感謝の日

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
⑩		⑩	⑪	⑪	⑪	⑪
8	9	10	11	12	13	14
⑪		⑪	⑫	⑫	⑫	⑫
15	16	17	18	19	20	21
⑫		⑫	⑬	⑬	⑬	⑬
22	23	24	25	26	27	28
⑬						
29	30	31				

12/23～1/4 講義休止期間

12/23 天皇誕生日

12/24 振替休日

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
⑭		⑬	⑭	⑭	⑭	⑭
12	13	14	15	16	17	18
⑮		⑭	⑮	⑮	⑮	⑮
19	20	21	22	23	24	25
補		⑮	試	試	試	試
26	27	28	29	30	31	
試		試			試	

1/5 講義再開

1/22～1/28 後期試験期間

1/31 試験予備日

1/1 元日

1/13 成人の日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

2/11 建国記念の日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3/20 春分の日

- ・①～⑮の数字は前期・後期の各講義日15回を示す。「補」は補講、「試」は試験を表す。
- ・前期：4月7日(日)～7月27日(土) 試験期間：7月28日(日)～8月3日(土)
- ・後期：9月21日(土)～1月21日(火) 試験期間：1月22日(水)～1月28日(火)

単位互換・京カレッジ事業にかかわる事務連絡について

1. 個人情報の送付について

2020年度開講に向けた個人情報送付については、別紙「個人情報の送付について」をご確認ください。

2. プラザ科目の授業対応について

（1）教室の利用

キャンパスプラザ京都で使用する教室は、賃貸利用のため、施設利用、備品利用の費用負担が発生します。各大学からの会費をもとに事業運営していますので、無駄な経費の発生を防ぐため、以下の点についてご注意ください。

- ① 授業終了後は速やかにご退位いただき、講義延長は行わないでください。なお、質問等の学生との対応は、大変恐縮ですが、教室外のラウンジスペース又は1階講師控室をご活用頂き、教室の退室については5分以内を目途とし、時間厳守のうえ使用物品等を1階受付にご返却ください。
- ② 休講決定時は速やかにご連絡頂き、補講などの授業予定や授業時に必要な追加備品などもあれば確定次第、事務局までできる限り早くご連絡ください。
- ③ 教室は、シラバスに記入された定員数によって割り当てをいたします。キャンパスプラザ京都の施設予約の都合上、出願・履修者数の確定後に教室変更ができません。そのため、シラバス表記の段階から注意していただき、講義定員を確定してください。

（2）授業の運営

キャンパスプラザ京都での開講科目についても、各大学の授業運営と同様となっています。担当教員から授業にかかわるサポートの依頼があった場合は、科目開設大学の担当者様にてご対応をお願いいたします。大学コンソーシアム京都のスタッフはお手伝いいたしかねます。

また、講師控室等における資料印刷は特段の場合を除き原則できません。授業で使用する資料をお送り頂く際は、必ず事前にご連絡頂き送付票に授業名を明記してください。

（3）駐車場の利用

キャンパスプラザ京都の駐車場はご利用いただけますが、利用場所の予約や駐車料金の割引制度などの措置はありません。公共交通機関をご利用されることを推奨します。

3. 学内での情報共有

単位互換の担当部署と京カレッジの担当部署が異なる大学・短期大学においては、単位互換・京カレッジに関する事務連絡を学内共有してください。

担当者用のメーリングリスト【t-go@consortium.or.jp】に主要な情報をお送りしますので、メーリングリストのメンバーの追加・修正等がございましたら、随時、事務局までご連絡ください。

4. 補講・休講について

（1）学生への周知

e京都ラーニングシステムでは、シラバス、出願確認、履修決定、連絡通知、補講・休講、レポート情報、教室変更の情報を入力できます。休講情報、教室変更の情報については、学生にeメールで連絡されますので、必要に応じてご活用ください。

なお、キャンパスプラザ京都にて補講を行う場合は改めて教室予約を行う必要がありますので速やかに事務局までご相談ください。

（2）京カレッジ生への周知

京カレッジ生は、e京都ラーニングにメールアドレスの登録をされていない方もいるため、急な休講や教室変更などの場合は、e京都ラーニング及び教室、学部・教務掲示板等への掲示だけでなく、できる限り電話等による個別の連絡にてご対応くださいますようお願いいたします。

個人情報の送付について

個人情報をメールで送信する際は、個人情報保護の観点から、パスワードを設定してお送りいたします。

パスワードは単位互換・京カレッジともに同一のものを使用します。今年度のパスワードは下記のとおりです。パスワードの取り扱いにはくれぐれもご注意くださいようをお願いいたします。

記

単位互換・京カレッジで使用するパスワード

tgmc19

※半角、小文字でお願いします。

※本日から次年度第1回事務担当者会議まで使用することとします。

<パスワードの設定方法>

- ① 名前を付けて保存を選択します。
- ② 「ツール」の中の「全般オプション」を選択します。
※Excel、Wordの場合はどちらも「全般オプション」からパスワードの設定を行います。
- ③ 「読み取りパスワード」に上記パスワードを入力し、「OK」を選択します。
- ④ 再度、パスワードを聞いてきますので、同様に入力します。
- ⑤ 名前を付けて保存します。

<ファイルの読み取り方法>

- ① ファイルを開くと「パスワード」を聞いてきますので、上記を入力します。
- ② ファイルが開きます。

付 記：成績通知につきましては、データ・紙媒体に関わらず、これまで同様郵送にて送付いただきますようお願いいたします。

以 上

報告

2019年度単位互換事業 前期出願状況の報告について

1. 概要

2019年度の単位互換事業には、加盟校から415科目（前年427科目）の提供があった。また、3月22日から4月12日までを前期出願期間として、履修生を募ったところ、延べ1,200名（2018年度前期1,762名）の出願があった。

2. 実績

（1）2019年度単位互換提供科目数および前期の受入者数・送出者数

		a	b	c	d	c - d	e	f
	大学名	提供 科目数	19年度 出願者数	19年度 送出者数	18年度 送出者数	増減	19年度 受入者数	受入者数 前年度増減
1	池坊短期大学	1	0	0	0	0	78	-8
2	大阪医科大学	2	3	3	8	-5	0	0
3	大谷大学	11	12	12	2	10	73	12
4	大谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0
5	華頂短期大学	1	1	1	0	1	2	2
6	京都大学	54	3	3	9	-6	101	-24
7	京都外国語大学	4	8	8	4	4	4	0
8	京都外国語短期大学	1	2	2	6	-4	1	0
9	京都先端科学大学	11	48	45	34	11	14	-35
10	京都教育大学	26	3	3	6	-3	12	2
11	京都経済短期大学	0	0	0	9	-9	0	-9
12	京都光華女子大学	13	0	0	1	-1	2	-95
13	京都光華女子大学短期大学部	0	0	0	2	-2	0	0
14	京都工芸繊維大学	5	5	5	3	2	24	9
15	嵯峨美術大学	2	1	1	1	0	4	1
16	嵯峨美術短期大学	2	4	4	0	4	1	1
17	京都産業大学	21	101	92	90	2	113	-47
18	京都女子大学	7	60	57	89	-32	2	2
19	京都市立芸術大学	21	3	3	3	0	1	-18
20	京都精華大学	5	4	4	4	0	10	-2
21	京都西山短期大学	0	0	0	0	0	0	-58
22	京都造形芸術大学	9	7	7	1	6	28	-7
23	京都橘大学	15	0	0	5	-5	26	-9
24	京都ノートルダム女子大学	11	7	7	4	3	9	-15
25	京都府立大学	4	8	7	0	7	1	-11
26	京都府立医科大学	1	0	0	0	0	6	-17
27	京都文教大学	13	3	3	34	-31	10	0
28	京都文教短期大学	5	0	0	0	0	0	0
29	京都薬科大学	2	0	0	1	-1	13	-6

	大学名	提供 科目数	19 年度 出願者数	19 年度 送出者数	18 年度 送出者数	増減	19 年度 受入者数	受入者数 前年度増減
30	種智院大学	14	7	7	14	-7	11	-5
31	成安造形大学	3	1	1	2	-1	14	-3
32	同志社大学	33	50	48	61	-13	128	48
33	同志社女子大学	11	13	13	21	-8	15	-5
34	花園大学	12	1	1	2	-1	80	-31
35	佛教大学	10	22	20	17	3	9	-90
36	平安女学院大学	9	5	5	4	1	9	-13
37	平安女学院大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	0
38	明治国際医療大学	0	2	2	0	2	0	0
39	立命館大学	19	766	657	1092	-435	24	1
40	龍谷大学	48	40	39	87	-48	225	-86
41	龍谷大学短期大学部	0	0	0	0	0	0	-50
42	早稲田大学	8	10	10	12	-2	20	3
43	京都華頂大学	1	0	0	4	-4	0	0
44	京都美術工芸大学	0	0	0	0	0	0	0
45	福知山公立大学	0	0	0	1	-1	0	0
	総計	415	1200	1070	1633	-563	1070	-563

3. 総括

(1) 提供科目数について

2019 年度前期の単位互換提供科目数は、415 科目であり、昨年度の 427 科目から昨年度と同様に大幅な減少は見られなかった。このことは、「単位互換科目の提供方針」7 項目に基づき、各大学が行っていた提供科目の精査や見直しが完了し、単位互換として相応しい科目が安定して提供されているものと考えられる。

また、e-ラーニング科目については昨年度提供された 5 科目全ての提供が行われず、当初の計画に従い 2018 年度をもって完全終了となった。

(2) 出願者数について

2019 年度前期出願時点での出願者数は 1,200 名（2018 年度前期 1,762 名、前年比 562 名減）、受講許可となった送出者数は 1,070 名（前年度比 563 名減）であり、昨年度に引き続き大幅な減少となった。この要因として、2018 年度の人気講座であった「子供の発達とヨーガ遊び」（京都西山短期大学）・「京を守る命を守る」（佛教大学）といったプラザ科目や 2018 年度は 5 科目で約 150 名の履修があった e ラーニング科目の基本方針にもとづく完全終了という要因に加え、協定大学においても引き続き単位の実質化や質の保証が求められ、明確化されたカリキュラムポリシーにもとづく学内科目の充実や単位互換履修の条件設定等の影響、また CAP 制の導入も大きく進み、履修登録期間の厳格化なども行われていることなどが受講者減少の主な要因であると考えられる。

(3) 今後について

協定大学においてカリキュラムポリシーにもとづいた履修の厳格化や科目の充実および単位の実質化がさらに進む中で、他大学における単位互換履修が困難となる状況は大きくなっており、出願者数の減少傾向は続いている。一方、中教審において大学連携を進める中で単位互換の促進の観点からも現在の本財団型の単位互換制度の枠組みが尊重される方向となっており、それらの動きも注視しながら協定校への更なる制度活用に向けた周知や助言など、単位互換をより活用するための働きかけを図りたい。さらに意欲的な学生層などに向け京都世界遺産 PBL 科目と併せ、京都に集積する博物館などの文化施設を学びの場とする教育効果の高いアクティブラーニングを促進する科目の導入を進め、さらなる京都ならではの特色のある単位互換科目の開設を目指す。

大学・大学院(学名)	2019年度(前期募集)						2018年度(前期募集)						2018年度(後期募集)						2018年度(前期+後期)								
	進出し			受入人数			最終 科目数			進出し			受入人数			最終 科目数			進出し			受入人数			最終 科目数		
	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減	出願者数		増減
	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	増減	
1 201 法政大学	0	0	0	78	-4	76	-4	1	0	-3	0	-3	84	48	48	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 201 大東文化大学	3	-3	0	0	2	6	6	0	-1	0	-1	0	-1	0	-1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 201 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 201 大東文化大学	12	10	12	10	73	12	73	12	11	2	-10	2	-9	61	33	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 201 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6 201 大東文化大学	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7 201 大東文化大学	3	-3	3	-3	101	-24	101	-24	64	6	8	125	-31	125	-30	53	1	1	1	1	37	2	37	2	22	2	22
8 201 大東文化大学	8	4	8	4	0	4	0	4	0	4	-3	4	-3	4	0	4	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
9 201 大東文化大学	2	-2	2	-2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 210 大東文化大学	48	7	45	11	14	-35	14	-35	11	41	-16	34	-22	49	-300	49	55	19	51	15	3	-3	2	2	2	2	2
11 210 大東文化大学	3	-3	3	-3	12	2	12	2	2	2	6	-2	6	-2	10	-18	25	1	-4	2	-3	2	-3	2	-3	2	-3
12 212 大東文化大学	0	-0	0	-0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13 213 大東文化大学	0	-1	0	-1	2	-05	2	-05	13	1	-4	1	-4	97	-4	97	0	0	0	0	3	-2	2	-2	2	-2	2
14 214 大東文化大学	0	-2	0	-2	0	0	0	0	0	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15 215 大東文化大学	5	2	5	2	24	9	24	9	6	3	-18	3	-18	15	0	15	0	4	2	4	2	0	0	0	0	0	0
16 216 大東文化大学	1	0	1	0	4	1	4	1	2	1	1	1	1	3	-4	3	4	0	-1	0	-1	0	0	0	0	0	0
17 217 大東文化大学	4	4	4	4	1	1	1	1	2	0	-1	0	-1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18 218 大東文化大学	101	7	92	2	191	31	113	-07	21	94	-05	190	0	190	0	20	69	-9	64	-14	4	1	4	1	6	16	16
19 219 大東文化大学	60	-31	67	-32	2	2	2	2	7	91	0	89	0	0	-3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20 219 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21 221 大東文化大学	3	0	3	0	1	-18	1	-18	1	3	-7	3	-7	18	-2	18	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 222 大東文化大学	4	0	4	0	10	-2	10	-2	6	4	0	4	0	12	-13	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23 223 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	159	45	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24 224 大東文化大学	7	6	7	6	44	0	28	-7	8	1	-4	1	-4	44	11	35	2	17	0	0	0	9	1	9	1	6	1
25 225 大東文化大学	0	-0	0	-0	50	15	26	-9	16	6	-6	5	-7	35	-23	35	6	16	11	10	11	10	5	-4	5	-4	5
26 226 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27 227 大東文化大学	7	3	7	3	8	-15	8	-15	11	4	-3	4	-3	24	-13	24	11	0	0	0	0	4	-32	4	-32	4	-32
28 228 大東文化大学	8	8	7	7	1	-15	1	-15	1	4	0	-14	0	16	3	12	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 229 大東文化大学	0	0	0	0	6	-21	6	-21	6	0	0	0	0	27	5	23	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30 230 大東文化大学	3	-31	3	-31	10	0	10	0	13	34	16	34	16	10	-13	10	-13	16	20	-18	16	-19	8	-8	-8	-8	-8
31 231 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32 232 大東文化大学	0	-1	0	-1	13	-6	13	-6	2	1	-3	1	-3	19	8	19	8	2	3	1	3	1	16	-20	16	-20	16
33 233 大東文化大学	7	-7	7	-7	11	-5	11	-5	14	15	11	14	10	16	3	16	3	14	0	0	0	0	11	-2	11	-2	11
34 234 大東文化大学	1	-2	1	-1	18	-1	14	-3	3	3	-1	2	-2	17	-13	17	-4	3	3	1	2	0	16	16	4	4	1
35 235 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 236 大東文化大学	90	-13	48	-13	128	45	128	45	33	63	6	61	5	63	-4	60	-3	32	3	2	3	2	16	-9	16	-9	16
37 237 大東文化大学	13	-8	13	-8	15	-5	15	-5	11	21	-2	21	-2	2	113	-210	111	5	4	5	4	5	4	5	4	5	4
38 238 大東文化大学	1	-1	1	-1	80	-33	80	-33	80	12	2	2	2	2	113	-210	111	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39 239 大東文化大学	22	5	20	3	8	-40	8	-40	10	17	0	17	0	89	71	99	11	12	-5	11	-4	22	0	22	0	10	10
40 240 大東文化大学	6	1	6	1	9	-13	9	-13	6	4	1	4	1	22	-1	22	0	9	0	0	0	4	1	4	2	3	4
41 241 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
42 242 大東文化大学	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43 243 大東文化大学	798	-433	657	-433	24	1	24	1	19	1199	-379	1092	-383	23	-21	23	-21	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44 244 大東文化大学	40	-39	39	-39	225	-99	225	-99	46	90	-19	87	-20	311	89	311	70	49	43	-45	42	30	-4	30	-4	16	16
45 245 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	-1	51	-14	50	-4	4	0	0	0	0	-3	0	-3	0	0
46 246 大東文化大学	10	-2	10	-2	30	8	20	8	12	12	-19	12	-19	22	9	17	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47 247 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48 248 大東文化大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49 249 大東文化大学	0	-4	0	-4	0	0	0	0	1	4	4	4	4	0	-1	0	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50 250 大東文化大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51 703 大東文化大学	-2	0	-2	0	-1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822	1683	-605	1792	-822	1683	305	427	222	-43	209	-53	222	-43	209	-55	138
計	1200	-642	1070	-643	1200	-582	1070	-583	415	1762	-822																

☐ 後期出願なし

報告

2019 年度「京都世界遺産 PBL 科目」出願状況の報告について

1. 概要

2015 年度から単位互換事業の一環として新たに「京都世界遺産 PBL 科目」（PBL 科目）が設置された。2019 年度「京都世界遺産 PBL 科目」は 6 か所の世界遺産所有者の協力により 6 大学が科目開設して、8 つの講義が展開されている。2017 年度からは現在の 8 科目で展開されている。

学生の受講登録については、3 月 22 日から 4 月 12 日までを出願期間として履修生を募った。この結果、科目を開講する大学の学生は計 65 名（前年度 78 名）で、受入学生である単位互換生は 22 名（前年度 25 名）が履修を行い、全体で 87 名（前年度 103 名）の受講者数となった。

2. 実績

（1）2019 年度「京都世界遺産 PBL 科目」履修登録者数

科目 CD	受入先 世界遺産	科目開設大学	科目名	担当教員	定員	受講者数	うち、単位 互換生数
A001	上賀茂 神社	京都産業 大学	京都の世界遺産 PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	吉野 秋二	20	6	(3)
A002	醍醐寺	京都橘 大学	遺産情報演習Ⅰ＜b＞ ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	小林 裕子	20	9	(1)
A003	清水寺	立命館 大学	特殊講義Ⅰ「清水寺の△△の○○（良い点）を磨け！、もしくは □□（困っている点）を救え！」	宗本 晋作	20	12	(6)
A004	醍醐寺	龍谷 大学	コミュニティマネジメント特論 ：世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	笠井 賢紀	20	2	(1)
A005	延暦寺	京都文教 大学	「お山」の魅力を探る・伝える	手嶋 英貴	20	11	(3)
A006	二条城	同志社 大学	世界遺産PBL講座 ～価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	多田 実	30	18	(5)
A007	仁和寺	立命館 大学	政策科学特別実習Ⅰ「京都の世界遺産 仁和寺」	桜井 政成	25	7	(1)
A008	清水寺	立命館 大学	特殊講義(教養 E)Ⅰ 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	大窪 健之	30	22	(2)
合計						87	(22)

※定員は受講者全体（科目開設大学および単位互換生）

(2) 大学別出願状況（単位互換生の所属大学）

科目 CD	受入先 世界遺産	科目開設大学	科目開設 大学学生	京都工 芸繊維 大学	京都 造形 大学	京都産 業大学	京都 女子 大学	同志社 女子 大学	佛教 大学	立命館 大学	龍谷 大学	合計
A001	上賀茂 神社	京都産業 大学	3		1					2		6
A002	醍醐寺	京都橘 大学	8							1		9
A003	清水寺	立命館 大学(宗本)	6				1	1	1		3	12
A004	醍醐寺	龍谷 大学	1							1		2
A005	延暦寺	京都文教 大学	8	1		1				1		11
A006	二条城	同志社 大学	13							5		18
A007	仁和寺	立命館 大学	6				1					7
A008	清水寺	立命館 大学(大蓮)	20				1				1	22
合計			65	1	1	1	3	1	1	10	4	87

※¹ 龍谷大学では他学部受講は単位互換生として扱っている。

3. 総括

開講5年目の2019年度については、昨年度に続き受講者の全体定員を満たした科目は無かったが、10名以上のクラスは昨年度と同じ4科目と半数のクラスでPBL科目としては比較的大きい規模にて開講されることになった。その一方、受講者が2名のクラスもあり少数クラスでは途中辞退者などがあれば科目運営を行うこと自体難しくなることも懸念される。

しかし、全体で見ると単位互換全体の減少が大きい中、本科目群における単位互換の出願者数が昨年度とほぼ同水準で推移していることから単位互換生については安定的と言えるが、自大学生の減少については、引き続き科目開設大学内での広報強化を要請していく必要がある。

なお、単位互換科目全体では近年受講者の大幅な減少は続いているが、その中でも「京都世界遺産 PBL 科目」についてはTAの活用などによる科目修了生との学び合いなど教育的効果も見られ、単位互換生の大幅な減少なども無かったことから、安定した科目運営が行われていると考えられる結果となった。

これは、科目開設より5年目を迎え科目修了生からの情報発信や担当教員による学生への呼びかけが浸透してきたことが考えられる。また、PRチラシの送付回数やメールでの協力依頼を増やすなど財団からの広報強化による単位互換協定大学への定着などが、単位互換として近年の安定的な科目運営に繋がっていると考えられる。

なお、単位互換生の所属大学は前年度より4校減少した。単位互換生の内訳は以下のとおりである。

京都工芸繊維大学	1名（前年度0名）	京都造形芸術大学	1名（前年度0名）
京都産業大学	1名（前年度6名）	京都女子大学	3名（前年度4名）
同志社女子大学	1名（前年度2名）	佛教大学	1名（前年度1名）
立命館大学	10名（前年度5名）	龍谷大学	4名（前年度1名）
※大谷大学	0名（前年度1名）	京都光華女子大学	0名（前年度1名）
京都先端科学大学	0名（前年度1名）	京都橘大学	0名（前年度1名）
種智院大学	0名（前年度1名）	同志社大学	0名（前年度1名）

単位互換事業にかかわる連絡事項について

1. 2020 年度単位互換科目の出願スケジュールについて

前期出願	出願期間	3 月 20 日（金）～4 月 10 日（金）正午まで
	出願確定処理	4 月 10 日（金）17:00 まで
	成績番号入力	4 月 16 日（木）17:00
	合否結果発表	4 月 17 日（金）5:00 以降
後期出願	出願期間	9 月 4 日（金）～18 日（金）正午まで
	出願確定処理	9 月 18 日（金）17 : 00 まで
	成績番号入力	9 月 24 日（木）17:00
	合否結果発表	9 月 25 日（金）5:00 以降

※上記の予定は今後変更になる場合があります。

2. 受講者の受入れについて

近年、単位互換・京カレッジの履修登録時に、多数の受講希望があった一部科目において、予めシラバスで公表されていた講義定員数を大幅に下回る受入者数に留まった科目が見受けられたため、この度あらためて単位互換・京カレッジ生の受入れについてご配慮頂くことをお願いするとともに、「プラザ科目」「プラザ推奨科目」・「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド（P1・P4）へは公表された単位互換・京カレッジ生の講義定員数は必ず受入れて頂く旨記載したことをお知らせいたします。

3. 単位互換科目におけるアンケートの実施について(お願い)

(1) アンケートの実施と広報について

2019 年度単位互換科目については、プラザ科目は紙と Web で、オンキャンパス科目は Web で授業アンケートを実施します。授業アンケートの回収率を高めていくため、以下のとおり広報を行います。各大学に各加盟校におかれましては、ポスターの掲示や科目担当教員を通じて学生に周知いただくなど、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

①大学への協力依頼（お願い）

「単位互換の皆様へ 2019 年度単位互換制度 Web アンケートの実施」

②財団 Web ページにおける告知

③財団より e 京都ラーニング登録者に対するアンケート実施のメール送付

④財団より無回答者に対する追跡メールの送付

⑤プラザ科目における紙アンケートとの併用

「単位互換制度アンケート」1 枚目・2 枚目

(2) Web アンケート回答者への図書カードの支給について

Web アンケート回答者の中から、抽選で 50 名に図書カードの支給を行います。当選者への連絡は財団から e 京都ラーニングに登録されているメールアドレスに直接行います。また、図書カードの授受は、原則キャンパスプラザの受付にて行う予定です。

※支給されるカードについては Quo カードに変更になる場合があります。

2019
年度

～単位互換生の皆様へ～

単位互換 Webアンケート 実施します

回答締切！

前期科目→2019年7月27日（土）
夏季集中科目→2019年9月20日（金）

パソコン or スマートフォンで回答！！

所要時間：5分程度！

<https://cuk.consortium.or.jp/>

ハイフン

ID（大学番号－学籍番号）とパスワードを入力してログインして下さい。

※大学番号がわからない方はログイン画面の「※IDの注意点はこちら」をご覧ください



抽選
50名様

Webアンケート回答者に
図書カード(500円分) プレゼント！

※Webアンケートは単位互換生が対象です

お問合せ

大学コンソーシアム京都 教育事業部

〒600-8216 京都市下京区西洞院塩小路下ル キャンパスプラザ京都

TEL：075-353-9120（直通） 075-353-9100（代） E-MAIL：tg@consortium.or.jp

単位互換制度 アンケート

抽選で50名様に

WEB アンケート回答者に
図書カード（500 円分）
プレゼント！

単位互換制度のニーズを知り、
魅力ある制度づくりに役立てますので
ぜひご協力ください。

※QUO カード（500 円分）に
変更する場合があります。

以下から回答方法を選択し
該当するものに☑を記入して下さい

	回答方法	回答手順
☐	WEB アンケート ※単位互換生対象 ※図書カード抽選対象	裏面 の方法でWEBにて回答  <u>1 枚目（本用紙）を</u> <u>教員に提出して下さい。</u>
☐	アンケート用紙	2 枚目のアンケート に回答  <u>1 枚目（本用紙）と 2 枚目の両方を</u> <u>教員に提出して下さい。</u>

※ご回答いただいた内容は、回答者を特定しない形でホームページや広報物に掲載することがあります。

単位互換制度WEB版アンケート

以下のアドレスにパソコンまたはスマートフォンで
アクセスしてください



<https://cuk.consortium.or.jp/>

IDとパスワードを入力してログインすると
アンケートのページが開きます



IDは「大学番号 ^{ハイフン} 学籍番号」です

※大学番号は下の表をご参照ください

例

立命館大学で、学生証番号が「1234567890-1」の場合

【ID】243 - 12345678901 となります

大学名	☆	大学名	☆	大学名	☆
池坊短期大学	201	京都女子大学	219	同志社女子大学	237
大阪医科大学	202	京都市立芸術大学	221	花園大学	238
大谷大学	204	京都精華大学	222	佛教大学	239
大谷大学短期大学部	205	京都西山短期大学	223	平安女学院大学	240
華頂短期大学	206	京都造形芸術大学	224	平安女学院大学短期大学部	241
京都大学	207	京都橘大学	225	明治国際医療大学	242
京都外国語大学	208	京都ノートルダム女子大学	227	立命館大学	243
京都外国語短期大学	209	京都府立大学	228	龍谷大学	244
京都先端科学大学	210	京都府立医科大学	229	龍谷大学短期大学部	245
京都教育大学	211	京都文教大学	230	早稲田大学	246
京都経済短期大学	212	京都文教短期大学	231	京都華頂大学	249
京都光華女子大学	213	京都薬科大学	232	京都美術工芸大学	250
京都光華女子大学短期大学部	214	種智院大学	233	福知山公立大学	251
京都工芸繊維大学	215	成安造形大学	234	嵯峨美術大学	252
京都産業大学	218	同志社大学	236	嵯峨美術短期大学	253

学生による単位互換アンケート

該当する項目に☑印または記入をしてください

1. 大学名	☐ 大学 ☐ 短期大学	2. 学年	回生	3. 性別	☐ 男 ☐ 女
4. 科目名	5. 過去の単位互換を受けた回数		☐ なし ☐ 回		

全員回答して下さい

1 今回履修した科目について質問します

設問 1 授業の進行する速さについてお答えください
☐速い ☐やや速い ☐ちょうどいい ☐やや遅い ☐遅い

設問 2 授業の容量についてお答えください
☐多い ☐やや多い ☐ちょうどいい ☐やや少ない ☐少ない

設問 3 授業の内容についてお答えください
☐満足 ☐やや満足 ☐どちらでもない ☐やや不満 ☐不満

設問 4 この科目を履修した理由をひとつだけお答えください
☐シラバスの内容が良かった ☐大学カリキュラムの受講指定科目だった ☐卒業必要単位修得のため
☐時間的に都合が良かった ☐単位修得しやすそうだった ☐通いやすい場所だった
☐先輩・友人・教職員の勧め ☐他大学教員・学生との交流 ☐その他（ ）

設問 5 授業の感想をお聞かせください
 （ ）

！ 以下については、今年度1度回答された方は回答する必要がありません

2 単位互換制度について質問します

設問 6 単位互換制度はいつ知りましたか？
☐入学前 ☐入学後（ 回生時）

設問 7 この制度をどのようにして知りましたか？（複数回答可）
☐所属大学（窓口） ☐所属大学（ガイダンス） ☐知人・先輩から聞いて
☐パンフレット・チラシ ☐HP ☐キャンパスプラザの案内
☐大学案内 ☐その他（ ）

設問 8 大学によって単位互換科目に「後期出願（9月）」があるのを知っていますか？
☐知らない
☐知っていた 《 ☐パンフレット・チラシ等 ☐ポスター・掲示板等 ☐HP ☐その他（ ） 》

設問 9 総合的に単位互換制度について満足されましたか？
☐満足 ☐やや満足 ☐どちらでもない ☐やや不満 ☐不満
 選択された満足度の理由をご記入ください
 （ ）

設問 10 単位互換制度について、知人や友人に参加を推奨したいと思いますか？
☐推奨したい ☐やや推奨したい ☐どちらでもない ☐あまり推奨したくない ☐推奨できない

設問 11 あなたにとって興味のあるテーマ（分野）は何ですか？（複数回答可）
☐京（みやこ）を学ぶ ☐歴史を学ぶ ☐文化・芸術を学ぶ ☐ことば・言語を学ぶ
☐教育・人生観を学ぶ ☐生活・健康・スポーツを学ぶ ☐自然・環境を学ぶ
☐現代社会を学ぶ ☐国際関係を学ぶ ☐その他（ ）

設問 12 単位互換制度で改善してほしい点があればご記入ください
 （ ）

2019年7月12日

2020年度単位互換「プラザ推奨科目」の継続提供のお願い

平素から単位互換事業の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、プラザ推奨科目については、3年間継続してご提供いただく科目として開設時にご申請いただいております。そのため、2018年度及び2019年度より開講いただきました科目については、2020年度も引き続きご提供いただきたいと考えております。

つきましては、

1) 次年度継続科目については、次年度の授業計画を申請書「授業計画書（継続科目用）」にご記入の上、**2019年9月28日（土）**までにご提出をお願いいたします。

2) 万が一、科目の継続開講ができない場合は、**2019年10月19日（土）**までに単位互換担当者にご相談のうえ「プラザ推奨科目開講中断申請書」のご提出をお願いいたします。

なお、原則としてプラザ推奨科目は3年間で終了となりますので、2017年度に開設されました科目は継続対象となりません。2020年度以降は通常の単位互換科目としてご提供くださいますようお願い申し上げます。また、終了する科目の後継科目として授業名及び授業内容等を刷新して頂く場合は新規科目として取扱う場合がありますので該当があれば締切日までに単位互換担当へご相談ください。

<2018年度からの追加支給>

【京都世界遺産 PBL 科目・京都ミュージアム PBL 科目：科目運営補助金追加支給】

【申請条件】

10万円を超えて科目運営補助金を使用する場合、TA謝礼として使用することを条件に2万円を上限として追加で交付する。

科目運営補助金支給額
100,000 円
※条件を満たした上で申請があった場合、20,000 円を上限に追加し、最高 120,000 円を交付することができる。

不支給例

- 教材費・学外講師：12万円
- 教材費・学外講師：6万円、TA経費：2万円

支給例

- 教材費・学外講師：8万円、TA経費：4万円
- 教材費・学外講師：10万円、TA経費：2万円
- 教材費・学外講師：11万円、TA経費：1万円（1万円のみ支給）

※追加支給の有無についての照会は、例年10月下旬～11月上旬に行っている補助金の支給に係る振込口座の照会時に併せてお伺いします。

申請書については、別紙ガイドのP8を参照にしてください。

《参考》 補助金制度（科目運営補助金・活動支援補助金）：2020 年度～

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨科目 【講義形式】	科目運営補助金	100,000 円 ※財団規程による学 外講師 2 名分の謝金+ 交通費相当額で算出	単位互換生・京 カレッジ生が 10 名以上受講して いること。	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他開設・運営にかかる経費 を科目開設大学の基準で使用。
② プラザ推奨科目 【演習・実習 形式】	科目運営補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名以上受講して いること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基 準で使用。
	活動支援補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基 づき実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の 賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務 委託費 ・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費
対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
③ プラザ推奨科目 【京都世界遺産 PBL 科目】 【京都ミュージア ム PBL 科目】	科目運営補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名以上受講して いること	学外講師の招聘にかかる準備費、学外講師・TA 謝礼、教材費、その他経費を科目開設大学の基 準で使用。
		20,000 円までを上限 に追加交付すること ができる	10 万円を超えて 補助金を使用す る場合、TA 謝礼 等として使用す ること	TA 謝礼等に限る
	活動支援補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基 づき実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品費、機材等の 賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿などの業務 委託費・調査・研究に必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場料 ・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

※「京都世界遺産 PBL 科目」については、3 年経過後も申請することにより最長 6 年まで更新
することができる。

以 上

【お問い合わせ】

大学コンソーシアム京都 単位互換担当

TEL. 075-353-9120 Mail : tg@consortium.or.jp

参考

2020年度のプラザ推奨科目について(継続対象科目)

科目区分	科 目 名	科目運営 補助金	活動支援 補助金	大 学	担 当 者	開講 期間	開始 年度	備考
講義	天文学と私たち ～神山天文台と138億光年の地平線～	¥100,000	¥0	京都産業大学	中道 晶香	夏期集中	18	3年目
講義	京都の文化・歴史・観光 ー京都検定への誘いー	¥100,000	¥0	京都産業大学	吉野 秋二	前期	18	3年目
講義	京都の歴史遺産 ーその保護と継承ー	¥100,000	¥0	京都橘大学	増淵 徹	夏期集中	18	3年目
演習・実習	子供のネット安全教育の理論と実践	¥100,000	¥70,000	京都ノートルダム女子 大学	神月 紀輔 他	通年	19	2年目
演習・実習	地域公共人材特別講座(新PBL入門)	¥100,000	¥70,000	龍谷大学	只友 景士 他	通年	19	2年目
演習・実習	京都で学ぶ人文学 (つながりを問い直すコミュニティとコミュニケーション)	¥100,000	¥70,000	京都大学	伊藤 和行 他	後期	18	3年目
演習・実習	環境教育・富良野自然塾	¥100,000	¥70,000	京都先端科学大学	鈴木 玲治	夏期集中	18	3年目
世界遺産	特殊講義(教養E) I 「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	¥100,000	¥70,000	立命館大学	大窪 健之	夏期集中	17	4年目
世界遺産	「お山の」の魅力を探る・伝える	¥100,000	¥70,000	京都文教大学	手嶋 英貴	後期	16	5年目
世界遺産	京都の世界遺産PBL ～上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する～	¥100,000	¥70,000	京都産業大学	吉野 秋二	通年	15	6年目
世界遺産	遺産情報演習 I (b) ～世界遺産醍醐寺プロジェクト活動をパブリック化する試み～	¥100,000	¥70,000	京都橘大学	小林 裕子	通年	15	6年目
世界遺産	特殊講義 I 「清水寺の△△の○○(良い点)を磨け!、もしくは□□(困っている点)を救え!」	¥100,000	¥70,000	立命館大学	宗本 普作 他	通年	15	6年目
世界遺産	コミュニティマネジメント特論 世界遺産と学ぶ課題発見・解決過程	¥100,000	¥70,000	龍谷大学	笠井 賢紀	通年	15	6年目
世界遺産	世界遺産PBL科目 価値主導型に基づく文化遺産マーケティング	¥100,000	¥70,000	同志社大学	多田 実	通年	15	6年目
世界遺産	政策科学特別実習1 (京都の世界遺産 仁和寺)	¥100,000	¥70,000	立命館大学	桜井 政成 他	通年	15	6年目
		¥1,500,000	¥840,000					

※科目区分 講義:プラザ推奨科目(講義形式) 演習・実習:プラザ推奨科目(演習・実習形式) 世界遺産:プラザ推奨科目(京都世界遺産PBL科目)

2020 年度単位互換「プラザ推奨科目」の新規・更新提供のお願い

前略 平素から単位互換事業の運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、プラザ推奨科目の 2020 年度募集を行います。（京都世界遺産 PBL 科目及び京都ミュージアム PBL 科目含む）プラザ推奨科目の定義は下記のとおりとなります。

また、新規開設予定の京都ミュージアム PBL 科目の概要について別紙のとおりお知らせします。

以下のいずれかの定義を満たすこと

- ① 2 名以上のゲスト講師（行政、産業界等の専門家・実務家など、学生除く）や他大学・他機関の教員・研究者との連携講義で構成する科目
（チェーンレクチャー、オムニバス方式等）
- ② フィールドワークやワークショップ、PBL を取り入れた課題解決型の能動的学修科目
- ③ 「明日の京都 文化遺産プラットフォーム」と連携して開講する科目

つきましては、新規・更新でプラザ推奨科目に申請される場合は、**2019 年 9 月 28 日（土）**までに「プラザ推奨科目新規開設申請書」又は「京都世界遺産 PBL 科目新規・更新開設申請書」・「京都ミュージアム PBL 科目新規開設申請書」のご提出をお願いいたします。ご不明な点等がありましたら、事務局までお問い合わせください。

《参考》 補助金制度（科目運営補助金・活動支援補助金）：2020 年度～

対象科目	補助金名	支給額	条件	想定する用途
① プラザ推奨科目 【講義形式】	科目運営 補助金	100,000 円 ※財団規程による学 外講師 2 名分の謝金+ 交通費相当額で算出	単位互換生・京カ レッジ生が 10 名 以上受講している こと。	学外講師の招聘にかかる準備費、学 外講師・TA 謝礼、教材費、その他開 設・運営にかかる経費を科目開設大 学の基準で使用。
② プラザ推奨科目 【演習・実習形式】	科目運営 補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名 以上受講している こと	学外講師の招聘にかかる準備費、学 外講師・TA 謝礼、教材費、その他経 費を科目開設大学の基準で使用。
	活動支援 補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づ き実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品 費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿 などの業務委託費 ・調査・研究で必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場 料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費
③ プラザ推奨科目 【京都世界遺産 PBL 科目】 【京都ミュージア ム PBL 科目】	科目運営 補助金	3 年まで：100,000 円	単位互換生が 1 名 以上受講している こと	学外講師の招聘にかかる準備費、学 外講師・TA 謝礼、教材費、その他経 費を科目開設大学の基準で使用。
		20,000 円までを上限 に追加交付すること ができる	10 万円を超えて補 助金を使用する場 合、TA 謝礼等とし て使用すること	TA 謝礼等に限る
	活動支援 補助金	3 年まで：70,000 円	教員の申請に基づ き実費を支給	授業活動の必要経費の支援 ・ワークや実習で使用する消耗品 費、機材等の賃借費 ・他団体・機関での実習や研修合宿 などの業務委託費 ・調査・研究で必要な図書費 ・フィールドワーク等で必要な入場 料・拝観料 ・成果物作成等にかかる印刷製本費

※「京都世界遺産 PBL 科目」については、3 年経過後も申請することにより最長 6 年まで更新することができる。

2020 年度のプラザ推奨科目について（確認）

1. プラザ推奨科目とは

単位互換制度の「プラザ推奨科目」とは、公益財団法人大学コンソーシアム京都が開設を求める科目・概要に対して、加盟大学・短期大学がそれに応じた科目を計画・申請し、財団が特色ある科目と認定した科目をいう。プラザ推奨科目は、原則、キャンパスプラザ京都で開講し、単位互換に関する包括協定締結大学・短期大学の学生が履修できる。

なお、科目の開設及び運営にあたっては、財団が定める支給基準（「科目運営補助金 支給基準」、「活動支援補助金 取扱要項」）に基づいて、科目運営補助金、演習・実習形式及び京都世界遺産 PBL 科目、京都ミュージアム PBL 科目には活動支援補助金を支給する。

2. 手続きについて

下記のとおり。プラザ推奨科目の詳細についてはガイドライン(別冊)を参照してください。

1)新規・更新開設科目

2020 年度に新規・更新開設されるプラザ推奨科目について、2019 年 9 月 28 日(土)までに申請してください。京都ミュージアム PBL 科目については今回が初めての募集になりますので学内での積極的な周知にご協力ください。

※「プラザ推奨科目新規開設申請書」又は「京都世界遺産 PBL 科目新規・更新開設申請書」・「京都ミュージアム PBL 科目新規開設申請書」を提出して下さい。(4 年目以降の更新は京都世界遺産 PBL 科目のみが対象です。)

2)継続提供科目(対象科目)

別紙「2020 年度のプラザ推奨科目（継続対象科目）」を確認の上、該当科目は下記のとおり手続きをしてください。

○次年度も継続されるプラザ推奨科目について、2019 年 9 月 28 日(土)までに申請してください。

※「プラザ推奨科目授業計画書（継続科目）」又は「京都世界遺産 PBL 科目授業計画書（継続科目）」を提出して下さい。

○科目の継続開講ができない場合は、2019 年 10 月 19 日(土)までに申請してください。

※2019 年 10 月 19 日（土）までに財団の単位互換担当者にご相談のうえ「プラザ推奨科目開講中断申請書」を提出して下さい。

3. 開設から 3 年が経過し、2019 年度でプラザ推奨科目としての提供が終了する科目

科目区分	科目名	大学	担当者	備考
世界遺産	特殊講義(教養E)Ⅰ「京都の文化遺産とその保護～清水地域の防災への取り組み」	立命館大学	大窪 健之	更新可能

※「京都世界遺産 PBL 科目」については、3 年経過後も申請することにより最長 6 年まで更新することができる。

【2020 年度開講】 京都ミュージアム PBL 科目新規募集概要

1. はじめに

本財団では「京都ならではの新たな学びの拡充」を目標に掲げ、文化都市の利点を活かし京都地域の学生教育の更なる充実に向け京都ミュージアム PBL 科目の開設を進めてまいりました。

この度、下記のとおり実習や課題提供などご協力頂きます文化施設が決まりましたので、科目開設大学の募集を行います。原則として、プラザ推奨科目と同様の取扱いとなりますが、以下のとおり科目開設に係る概要をお知らせいたします。多くの協定校様よりご応募頂きたく存じますので学内の周知等についてご協力の程宜しくお願いいたします。

○京都ミュージアム PBL 科目とは

大学コンソーシアム京都と京都市の協働により単位互換科目において PBL やグループワーク等のアクティブラーニング型の科目を実施する枠組みをコーディネートし、それを大学の正規の科目として提供頂き、京都の各文化施設と連携して授業を実施するものである。

2. 申請期限

2019 年 9 月 28 日 (土) ※(プラザ推奨科目申請期限)

申請書類:「京都ミュージアム PBL 科目」新規開設申請書

3. 協力文化施設

- ・ 京都鉄道博物館
- ・ 京都国際マンガミュージアム
- ・ 京都市動物園
- ・ 京都市京セラ美術館



4. 科目開設大学募集方法

○新規科目申請に係る取扱いについては、原則としてプラザ推奨科目と同様の手続きにより行うものとするが、初年度であることから今後については以下のとおり予定している。

- ①【7月12日(金)】第1回単位互換・京カレッジ事務担当者会議
- ②【7月中旬～8月下旬】科目開設相談期間(希望大学との個別相談)
- ③【8月下旬～9月上旬】科目開設説明会(問い合わせ多数の場合は説明会を実施)
- ④【9月28日(土)】新規 PBL 科目申請書類提出〆切

※申請書類については別紙のとおり京都世界遺産 PBL 科目と同様の様式とする。

- ⑤【10月～11月】文化施設と希望大学とのマッチング作業

※大学コンソーシアム京都が仲介となりマッチングを行う。

- ⑥【12月下旬～1月上旬】シラバス作成

5. ガイドライン・各種補助金

科目開設にあたり、本財団では、ガイドライン記載の支給基準に基づいて、円滑な科目運営をサポートするため科目開設大学へ科目運営補助金と活動支援補助金を支給する。

- (1) ガイドラインおよび補助金の取扱いについては、京都世界遺産 PBL 科目と同様に「プラザ推奨科目に関するガイドライン」に準拠するものとする。
- (2) プラザ推奨科目としての取扱いは当面 3 年までとする。本財団の判断により 4 年目以降、更新する場合がある。
- (3) 科目運営をサポートする補助金の支給について（京都世界遺産 PBL 科目と同様の基準）

科目運営補助金	10 万円 (2 万円追加可)	大学へ支給：TA 経費等
活動支援補助金	7 万円	教員へ支給：消耗品等

6. 科目の基本的枠組み

- (1) 大学の正規科目として開設すること。
- (2) 講義定員は、原則 5～20 名とし、自大学生と単位互換履修生（原則 3 割以上が望ましい）に限る。京カレッジ生（一般の生涯学習生）は含まない。
- (3) 原則としてキャンパスプラザ京都を会場とすること（プラザ科目となる）。
 - ① プラザ科目の場合、会場費（教材提示装置等機器使用料を含む）は、本財団が負担する。
 - ② 使用機器などについては、事前申請を必要とする。
- (4) 原則として同一大学、同一科目名称で 1～3 年間開設すること。
 - ① 原則として 3 年間継続する。
 - ② 科目を 3 年間設置することができないと予め判明している場合は、申請書にその旨記載する。
- (5) 原則として単年度ごとに完結するプロジェクトとすること。
- (6) 授業パターン

授業回数（90 分授業）	単位数	受講人数
半期（前・後期）・夏季集中：15 回相当	2 単位	5～20 名程度
通年：30 回相当	4 単位	5～20 名程度

- (7) 共通講義日程

共通講義	実施時期	コマ数	備考
全体講義	5 月中旬	2 コマ分	合同の基本講義
成果発表会	12 月中旬	2 コマ分	合同の成果発表
各種トレーニング（任意）	インタビュー：5 月	1 コマ分	外部講師
	プレゼンテーション：10 月	1 コマ分	外部講師

※共通講義を「授業」として 1 コマと位置付けるか否かは科目担当者の判断となる。

※共通講義以外の授業日程については科目担当者により設定する。

- (8) 授業形態を考慮し、受講学生は所属大学において災害障害保険及び賠償責任保険に加入し、科目開設大学は加入の確認に特に留意すること。

7. 科目設計コンセプト

担当教員は、ファシリテートをすることによって、以下の教育コンセプトが促進されるよう授業運営を行う。

(1) 解のない課題と向き合い、解決に向けた方向性を探る

学生が受入れ先とのコミュニケーションやインタビュー等の中から文化施設が持つ課題を確認し、その課題解決に向けた検証を行い、活動から学んだことを発表します。

※解決策の提示を目指す、決して成果を求めるのではなく、活動の中で学んだことを学生どうしで深め、成長につなげることを重視する。

(2) インターカレッジによる多様な学びを深める

所属大学以外の学生と接することにより、社会と同様、多様な考え方、価値観等に触れ、交流させることで個々の学生の成長拡大につなげ、学生の学びと成長を促す。

(3) 課題解決に取り組み、京都（ミュージアム）の新たな魅力を発見する

京都の文化施設に関わるフィールドでの活動を通じて解決策を提示することを通して、今後の京都（ミュージアム）の新たな魅力を発見することを目指す。

8. 関係機関の役割

(1) 各文化施設

- ・授業で施設を利用する際の入場協力
- ・施設側授業担当者の設定
- ・課題設定に関する教員との打ち合わせ及び学生インタビューへの協力
- ・会議室など施設内で授業やミーティングをする際の場所の貸与
- ・施設での取組みの説明など学生ガイダンスの実施

(2) 大学コンソーシアム京都

- ・科目開設大学との申請等手続き調整
- ・PBL 科目活動補助金の担当教員への振込、科目運営補助金の法人への支給
- ・科目開設に向けた教室手配や PBL 科目の周知・広報
- ・京都市と連携し、文化施設側との調整

(3) 京都市

- ・文化施設側との調整
- ・全体講義時に京都市から講師を派遣するなど枠組みへの協力
- ・PBL 科目の広報協力

(4) 科目担当教員

- ・科目開設のための学内手続
- ・シラバス作成
- ・講義の実施
- ・科目運営補助金の執行
- ・成績判定

(5) 科目開設大学

- ・科目開設 ※学則に定める科目として開設することが前提となります。
- ・科目運営補助金（ゲストスピーカー等の給金・謝金）の支出
- ・受講学生の災害障害保険・賠償責任保険の加入確認
- ・委託契約の締結（必要あれば）
- ・プラザ推奨科目補助金の財団への申請
- ・担当講師への出講案内
- ・学生に対する各種教務連絡（休講、補講、教室変更、試験・レポート情報等）
- ・e 京都ラーニングを通じた休講情報等の公開

9. 文化施設からのテーマ・課題

京都鉄道博物館

・「外国の方に楽しんでいただくためには、どうしたらいい？」

近年、当館ではアジア圏をはじめ、外国からのお客様を多くお迎えしています。オリンピックや万博を控え、今後外国の方により多くご来館いただくために、また外国の方にも不便のない施設にするために、より有効と考えられる展示や取り組みを考えています。

・「地域に密着した取り組みを考えてみよう！」

「地域と歩む鉄道文化拠点」を基本コンセプトにする当館では、地域に密着して活動し、地元・京都をはじめ、たくさんの方にファンになっていただくことも大切な目的のひとつです。鉄道をテーマにした博物館は他の地域にもありますが、「京都にある鉄道博物館」だからこそ出来る展示や取り組みを考えています。

・「どんな博物館ならリピーターが増える？」

当館は2020年で開館5年目を迎えますが、長期的・継続的に多くのお客様にご来館いただくために、今後は既にご来館いただいた方にリピーターになっていただくことが大切になってきます。またぜひ来館したい！家族や友人を誘ってもう一度来たい！と思っていただくために、効果的と考えられる展示や取り組みを考えています。

京都国際マンガミュージアム

外国人観光客がより満足できる施設づくりや日本のマンガについて理解を深めるための情報発信方法を考えてほしい

世代や国籍を超えて楽しむことができる、マンガに関するワークショップのメニュー開発について提案してほしい

マンガ関連資料のアーカイブとその活用方法について、若者の柔軟な発想で提案してほしい

京都市動物園

・大学生のチカラで京都市動物園の可能性を広げる企画提案

動物園には、貴重な野生動物だけでなく、植物や水路・田んぼなどの環境教育資源、さらに岡崎地区という文化ゾーンに立地していることなど、多様なリソースがある。大学生の視点と感性を活かして、若者が参加したくなる企画を提案してほしい。

・入園者アップのためのイベントの企画提案

動物園の主たる来園者層は小学生以下の子どもを含むファミリー層である。とくに、入園者数が落ち込む夏季と冬季に、動物園に来たくなるようなイベント企画を立案してください。採用した企画を実施し評価するところまでを課題とします。

・「京都市動物園＋α」コラボレーション企画提案

外部の企業または団体とのコラボレーションにより、京都市動物園の新しい可能性を打ち出す。企画立案から企業・団体との交渉、企画の運営までを京都市動物園とともに進めることを課題の範囲とする。

京都市京セラ美術館

「京都のミュージアムが学びのフィールド」をテーマにした、ミュージアムにおける子供向けラーニングプログラムの開発

「京都のミュージアムが学びのフィールド」をテーマにした、居住外国人・インバウンド外国人観光客などを含めた国際相互理解や国際交流を目的とした鑑賞・ラーニングプログラムの開発

※京都市京セラ美術館における2020年度の開講期については、前期は不可とし、後期または夏季集中を予定。

2021年度以降の開講期については、2020年度の状況により要検討。

NEW

単位互換PBL（project based learning）科目

京都のミュージアムが学びのフィールド

京都にある博物館など、文化施設の多様な課題に取り組むことでチームワークを活かし
課題解決に向けたリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

2020年度実施先（予定施設）



京都鉄道博物館



京都国際
マンガミュージアム



京都市動物園



京都市京セラ
美術館

開講期間 ・前期 ・後期 ・夏季集中 ・通年

※科目ごとの授業方針により
開講期間を決定する。

共通授業日程（2日）以外で担当教員が授業日設定可能！

他大学・多文化施設との
共通授業日程（土or日曜日）

5月中旬→全体での基本講義（2コマ）
12月中旬→成果発表会（2コマ）

4コマ



独自の授業日程設定

教員の授業計画により設定（11コマ）
（原則同曜日・同時限）

11コマ

※上記は半期15コマ（2単位）の場合です

開講スケジュール

7月12日	事務担当者会議
7月中旬～8月下旬	科目開設相談期間
9月下旬	PBL科目新規申請書類提出
10月～11月	大学と文化施設のマッチング期間
12月上旬～翌1月下旬	シラバス作成
3・4月	学生出願登録
4月	前期授業開始

科目開設相談期間： 7月中旬～8月下旬

※期間中、個別にお伺いし科目開設に関するご相談をお受けいたします。

※合同の科目開設説明会を別途開催する場合は改めて連絡いたします。

授業イメージ

単位互換科目の枠組みで P B L（問題解決学習）を実施

基本学習

インタビュー・調査

課題発見・テーマ設定

分析・ディスカッション

課題解決策の提示
(プレゼンテーション・活動報告書)

1大学が1文化施設と共同で授業を実施。

※キャンパスプラザ 利用可能

※大学から正規科目として提供

A大学



B文化施設
(博物館等)

例：A大学がB博物館の課題に取り組む

課題例	高齢者が多く、楽しく来館してほしい。
解決例	学生視点で高齢者に優しいマップを作成しよう！
授業回数	15コマ（2単位）
受講人数	15名程度

補助金・サポートトレーニング

補助金支給と外部講師を活用することも可能！

・補助金

科目運営補助金	上限12万円 (単位互換性1名以上)	講師謝礼、T A等に活用可能
活動支援補助金	上限7万円 (要件なし)	書費、印刷製本費、交通費などに活用可能

・サポートトレーニング

外部講師による 各種トレーニング	・スキル向上 (インタビュー・プレゼンテーション) ・基本講義・発表会共同開催	実践を中心とした内容
---------------------	---	------------

各文化施設とのマッチングについて
「（公財）大学コンソーシアム京都」が調整いたします。

お問い合わせ

公益財団法人大学コンソーシアム京都 教育事業部
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都（月曜日は休館）
Tel：075-353-9120 FAX：075-353-9121 Mail:tg@consortium.or.jp

京都ミュージアムPBL科目 授業運営イメージ

	授業内容	学生の動き
基礎・状況理解	基本講義	文化施設関係者からフィールドの特徴と状況のお話を受け、ミュージアムでPBLを行う意義を説明する。
	事前調査・トレーニング	事前調査(周囲への事前アンケート実施・文献調査等)を行う。またインタビュートレーニングを受ける。
	インタビュー	インタビューを通して、現場ならではの新たな視点や課題を発見し、施設の状況も的確に把握する。
課題探索／発見	調査	インタビューにかかわる項目を整理し、実地調査を行う。
	課題解決案の提示	課題について、調査結果をもとに課題解決案を提示する。
	課題解決案の検証	実際の課題解決案の精度を高めていくため、シミュレーションなどを行い、検証する。
	中間報告	プレゼンテーションや試作品の提示を行い、解決案のブラッシュアップを行うための意見をもらう。
	解決案の改良	解決案をブラッシュアップする方法(調査、試作品の改良など)を考え、最終成果を出すために行動する。
発表／まとめ	プレゼンテーション準備	学習経緯を踏まえて成果のプレゼンテーション準備を行う。
	成果発表会	他クラスとの合同の成果発表会でプレゼンテーションを行う。
	まとめ	課題点を確認し、学生自らの振り返りを行い、活動報告書に纏めることで今後の学習につなげる。

受付番号 _____

京都ミュージアム PBL 科目用

「京都ミュージアムPBL科目」新規開設申請書

公益財団法人 大学コンソーシアム京都 御中

以下のとおり、開設申請を行います。なお、科目開設が許可された場合は、単位互換・京カレッジガイドライン・出講案内に沿って授業運営を行うこととします。

応募日： 年 月 日

科目名（仮）				
希望連携先 (複数希望可)	()	京都鉄道博物館	()	京都国際マンガミュージアム
	()	京都市動物園	()	京都市京セラ美術館
開講期間 (いずれかに○)	() 前期 () 夏期集中 () 後期 () 通年			
受講定員	合計[] 名 (内 単位互換[] 名)		単位数	() 単位
申請大学名				
科目担当教員	所属		(ふりがな) (氏名) 印	
	TEL		FAX	
	Email			
事務連絡先	部署		(ふりがな) (氏名)	
	住所	〒		
	TEL		FAX	
	Email			

1. プログラムの概要 今回申請されているプログラムの要点・特徴（受講者向けのアピールポイント）を400字以上で記入して下さい。

受付番号 -

2. 授業実施スケジュール

<授業実施時期・時限>

※曜日・時限については前期・後期ごとに曜日時限を固定してください。夏期集中期間に行う場合は期間を記入してください（授業時間・学年暦はガイドラインを参照してください）。

	キャンパスプラザでの授業			文化施設・その他フィールドでの授業（定期的に行う場合）			その他※夏期集中期間に実施の場合は実施期間（8月～9月）を記入
第1希望	曜日	限～	限	曜日	限～	限	
第2希望	曜日	限～	限	曜日	限～	限	
第3希望	曜日	限～	限	曜日	限～	限	

<授業スケジュール>

日程	実施項目	場所
①	全体講義（京都の文化施設に関する共通講義等）【5月実施予定】	キャンパスプラザ京都
②		
	成果発表会【12月～1月実施予定】	

※全体講義と成果発表会は、他の京都ミュージアム PBL 科目との合同で実施する必須プログラムですので、それを含めたスケジュールを作成ください。

【備考 ※その他、留意点、申告事項等がありましたらご記入ください。

※上記の申請をもとに文化施設と調整し、財団事務局より申請大学に開設の可否をおってお伝えいたします。

（事務局記入欄）

受付日	書類確認	備考	確認者
-----	------	----	-----

個人情報の取り扱いについて：ご提出いただいた資料およびご記入いただいた個人情報は、選考、運営ならびに情報提供の目的で事務局が利用し、適切に管理致します。

2019年度 生涯学習事業「京カレッジ」の出願状況報告について

1. 概要

(1) 提供科目について

以下の4分野で本財団加盟校の大学講義・公開講座を2019年度は257科目を提供した。

- ① 大学講義(A～I) 大学の正規科目で単位修得が可能な講座
 - ② 市民教養講座(J) 歴史や文化、芸術、語学、健康、社会問題など多彩な公開講座
 - ③ 京都力養成コース(K) 京都をより深く学べる特色ある講座
 - ④ 教養力養成コース(L) 市民の文化力・地域力を向上するための京カレッジ独自の講座
- ※京都学講座は京都力養成コースの中で大学コンソーシアム京都主催として開講した。

(2) 広報活動について

- ① 財団ホームページに京カレッジ案内掲載(メールフォームによる募集ガイド請求)
- ② 過年度の受講者及び資料請求者へ募集ガイドを送付
- ③ 市役所、区役所、図書館等市関係施設他、科目提供大学へ広報用にチラシを配布
- ④ 市役所、区役所、図書館等市関係施設、地下鉄各駅等へ広報用ポスター配布
- ⑤ 市役所、区役所、図書館及び加盟大学・短期大学で募集ガイドを配布
- ⑥ きょうと市民しんぶんの記事掲載
- ⑦ 京都新聞・朝日新聞・読売新聞に広告掲載
- ⑧ 広報特別企画「京をめぐる物語の舞台としての宇治(小説家 武田綾乃氏)」
3月9日(土)実施(応募者539名、抽選にて来場者335名)

(3) 出願方法・受付期間

- ① 郵送:2019年3月6日(水)～20日(水)必着
 - ② 持参:2019年3月19日(火)・20日(水) 10:00～16:00で受付
- ※後期募集科目は7月18日(木)に大学コンソーシアム京都のホームページに掲載予定
郵送:2019年8月13日(火)～24日(土)必着
持参:2019年8月24日(土) 10:00～16:00で受付

(4) 科目提供大学数、提供科目数、受講科目数、出願者数

【2019.04.26集計】

年度	科目 提供 大学等	提供 科目数	出願 科目数	出願者数						一人あ たり併 願科目 数※2	受講 許可 者数
				＜実数＞			＜延べ数＞				
				前期	後期※1	合計	前期	後期	合計		
2019	31大学	257科目	122科目 前期122科目	812名	－	812名	1,558名	－	1,558名	1.9科目	1,317名
	2機関										
2018	34大学	274科目	120科目 前期115科目	773名	14名	787名	1,407名	15名	1,422名	1.8科目	1,297名
	2機関										
2017	30大学	276科目	127科目 前期121科目	1,048名	7名	1,055名	1,655名	24名	1,679名	1.6科目	1,315名
	2機関										
2016	31大学	314科目	154科目 前期149科目	812名	21名	833名	1,576名	34名	1,610名	1.9科目	1,292名
	2機関										
2015	34大学	449科目	178科目 前期174科目	809名	10名	819名	1,921名	25名	1,946名	2.4科目	1,743名
	2機関										
2014	34大学	373科目	172科目 前期159科目	698名	18名	716名	1,701名	47名	1,748名	2.4科目	1,525名
	1機関										
2013	36大学	428科目	194科目	506名	16名	522名	1,074名	40名	1,114名	2.1科目	－
	1機関										
2012	36大学	469科目	228科目	596名	18名	614名	1,265名	62名	1,327名	2.1科目	－
	1機関										

○単位互換提供科目数と同様、ガイドラインに基づいた科目提供により科目数の絞り込みが進んでいる。

なお、正規科目でない生涯学習講座の割合は微増している。

○出願者数について、市民向けの生涯学習講座への新規科目提供もあったことから増加した。

※1 前期に出願していない新規の方のみの数字

※2 一人あたり併願科目数＝出願者数<延べ数>合計÷<実数>合計

(5) 出願者の年代

年代	男性	女性	合計	割合	2018年度 の割合
20代以下	0	2	2	0.2%	0.0%
20代	2	11	13	1.6%	1.1%
30代	8	13	21	2.6%	2.8%
40代	13	32	45	5.5%	8.0%
50代	42	81	123	15.1%	11.8%
60代	163	145	308	37.9%	47.1%
70代	163	108	271	33.4%	25.5%
80代以上	22	7	29	3.6%	3.5%
合計	413	399	812	100.0%	100.0%

○昨年度同様に男女とも60代の出願者が最も多く、全体の37.9%を占めている。
70代が増加傾向にあり、60代とあわせると全体の71.3%となる。

(6) コース別出願状況

分野	提供科目数		出願のあった科目		出願者数(人)		2018年度 出願者 人数(割合)
大学講義(A～I)	217	84.4%	93	76.2%	346	22.2%	401(28.2%)
市民教養講座(J)	30	11.7%	19	15.6%	308	19.8%	286(20.1%)
京都力養成コース(K)	8	3.1%	8	6.6%	789	50.6%	706(49.6%)
教養力養成コース(L)	2	0.8%	2	1.6%	115	7.4%	29(2.0%)
合計	257	100.0%	122	100.0%	1558	100.0%	1422(100%)

- 提供科目の84.4%(217科目)が大学講義だが、内出願しているのは半数以下の93科目で、出願者は全体の22.2%で昨年度より割合が減った。
- 市民教養講座(J)は昨年度から新規に明治国際医療大学より健康分野に5科目の提供があり、今年度も出願者数が多かった。
- 京都力養成コースと教養力養成コースは全講座に出願があった。京都力養成コースに新規で京都精華大学、また、教養力養成コースに明治国際医療大学が参加したことで、昨年度より出願者数が増え、このコースで全出願者の58.0%を占めた。

(7-1) 京都力養成コース出願状況

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
京都学講座【午前コース】 「京の伝統と先端－みやこが育んだ『モノ』と『技』－」	大学コンソーシアム京都	250	339	273	135.6%
京都学講座【午後コース】 「京の伝統と先端－みやこが育んだ『モノ』と『技』－」	大学コンソーシアム京都	250	184	249	73.6%
観光資源としての中原中也 ～中原中也の足跡を辿り、詩歌で京都力を発信する～	平安女学院大学	15	19	18	126.7%
京都の経済・産業・商業に関する歴史と社会－多様な資料と手法によるアプローチ－	京都産業大学	30	47	31	156.7%
古都探訪「みやこ」をとりまく文化・文学・歴史	京都精華大学	20	78	25	390.0%
うま味の文化と科学 ～京都の種麴屋に、和風調味料の原点をみる～	放送大学	25	57	25	228.0%
ミュージアムと持続可能なコミュニティを考える ～ICOM2019京都大会と協働するパブリック・キュレーター育成活動～	京都外国語大学	20	10	10	50.0%
祇園祭の起源と発展と敷衍－神泉苑と八坂神社と町衆の視点から祇園祭の神髄に迫る－	龍谷大学	20	55	20	275.0%
合計		630	789	651	125.2%

(7-2) 教養力養成コース出願状況

科目名	提供大学・機関	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
季節に応じた健康養生講座～京都の伝統文化を楽しみながら健康で美しく生きるための知恵～	明治国際医療大学	30	84	34	280.0%
モノから探る京都の大学教育のあゆみ－大学博物館の収蔵品からみえるもの	京都・大学 ミュージアム連携	20	31	22	155.0%
合計		50	115	56	230.0%

- 京都力養成コース、教養力養成コースは特に市民の関心が高い京都関連をテーマにしたものやフィールドワークによるものを京カレッジ生用科目として財団が補助金を支給し、開講している。全体で680名定員に延人数904名の出願があり、例年どおり高い人気となっている。
- 「京都学講座」について、本講座は午前・午後コースを抽選で振り分けているため、「出願者数」は第1希望者数であり、また「受講許可者数」には第2希望者を含んでいる。

(8) 幼保特例プログラム科目への出願状況

科目名	提供大学	定員	出願者数	受講許可者数	定員に対する出願者率
教育制度論 (日本国憲法を含む)	大谷大学	110	16	14	14.5%
教育相談(幼)	大谷大学	110	16	15	14.5%
保健と食と栄養	大谷大学短期大学部	110	8	8	7.3%
保育・教育課程論	京都光華女子大学	100	14	14	14.0%
乳児保育	京都光華女子大学	50	9	9	18.0%
教職論	京都西山短期大学	110	15	15	13.6%
保育内容指導法	京都西山短期大学	110	17	17	15.5%
福祉と養護	京都西山短期大学	110	7	7	6.4%
子ども家庭支援論(特例)	京都ノートルダム女子大学	110	8	8	7.3%
合 計		920	110	107	12.0%

- 「幼稚園免許状又は保育士資格取得のための特例制度」に基づく特例講座として
2014年度から開講している。2019年度末にて閉講予定。
- 開始初年度の2014年度は854名の出願があった。対象となる母数の減少が考えられ出願数も
減少傾向にある。
2015年度 546名(308名減) 2016年度 334名(212名減) 2017年度 170名(164名減)

(9) 各大学の科目提供数と出願状況

大学名	大学講義	公開講座	計	出願科目	出願者数	出願率※	2018年度出願率
池坊短期大学	1	0	1	1	3	100.0%	100.0%
大谷大学	11	0	11	8	41	72.7%	66.7%
大谷大学短期大学部	1	0	1	1	8	100.0%	80.0%
華頂短期大学	1	0	1	1	2	100.0%	9.0%
京都外国語大学	0	1	1	1	10	100.0%	100.0%
京都華頂大学	1	0	1	0	0	0.0%	0.0%
京都教育大学	13	1	14	10	58	71.4%	80.0%
京都光華女子大学	15	0	15	6	27	40.0%	31.6%
京都工芸繊維大学	3	0	3	2	6	66.7%	100.0%
京都産業大学	12	1	13	4	56	30.8%	33.3%
京都市立芸術大学	20	2	22	8	13	36.4%	5.3%
京都精華大学	0	4	4	3	85	75.0%	100.0%
京都西山短期大学	3	0	3	3	39	100.0%	66.7%
京都先端科学大学	6	0	6	6	15	100.0%	50.0%
京都造形芸術大学	3	0	3	3	46	100.0%	100.0%
京都橘大学	11	8	19	8	118	42.1%	47.4%
京都ノートルダム女子大学	11	0	11	6	15	54.5%	27.3%
京都美術工芸大学	1	0	1	1	3	100.0%	100.0%
京都府立大学	3	0	3	1	1	33.3%	0.0%
京都文教大学	12	0	12	1	1	8.3%	0.0%
京都薬科大学	2	0	2	1	1	50.0%	100.0%
種智院大学	4	0	4	4	26	100.0%	50.0%
同志社大学	13	0	13	5	5	38.5%	75.0%
同志社女子大学	11	0	11	6	16	54.5%	36.4%
花園大学	2	0	2	1	1	50.0%	50.0%
佛教大学	2	0	2	1	2	50.0%	66.7%
平安女学院大学	8	1	9	2	20	22.2%	22.2%
明治国際医療大学	0	5	5	5	250	100.0%	100.0%
立命館大学	15	12	27	8	13	29.6%	29.6%
龍谷大学	32	1	33	11	66	33.3%	34.4%
大学コンソーシアム京都	0	2	2	2	523	100.0%	100.0%
放送大学(京都学習センター)	0	1	1	1	57	100.0%	100.0%
京都・大学ミュージアム連携	0	1	1	1	31	100.0%	100.0%
合計	217	40	257	122	1558		

※ 出願科目数／開講科目数

(10) 「大学リレー講座」の実施について

大学リレー講座は、各加盟校の特色を生かした市民講座の一部を、増加傾向にある京カレッジ生を主たる対象に、キャンパスプラザ京都を会場にして、各校の特色をリレー形式でアピールし、各校の生涯学習事業への新規受講者に繋げることを目的とした教養講座(受講料無料)。事前申込は不要。2019年度は10大学10講義の開講する。2019年度も各大学はシニア層の多い京カレッジ利用者の関心度の高い京都学、宗教、歴史、文学、健康のテーマで、各大学の教育研究の特色や事業のPRを行う。本講座は4年目となり市民の認知度が上がっていることから、受講者数は毎回平均200名程度を見込んでいる。

日程	時間	大学	テーマ	受講者数
5/25	13:30-15:00	大谷大学	古代インドの人生を終える生活期	222
7/13	13:30-15:00	京都文教大学	お釈迦さんと法然さんーその魅力を探るー	
8/24	13:30-15:00	京都橘大学	「七人の侍」と「赤穂浪士の討ち入り」を読み解くー作業療法士という医療職の視点からー	
9/28	13:30-15:00	明治国際医療大学	東洋医学の健康観と身体のみかたー身体チェックから養生までー	
10/12	13:30-15:00	花園大学	ブッダの教えはどう広まったのか	
10/26	13:30-15:00	京都文教短期大学	100歳まで生きる身体(からだ)づくりー健康寿命を伸ばす運動と栄養ー	
11/9	13:30-15:00	京都精華大学	銀幕に輝く小説のヒロインたちー谷崎潤一郎の文学と映画制作を中心にー	
1/11	13:30-15:00	同志社女子大学	京都観光学を考える視点ー江戸時代の観光ガイドブックとの比較を通してー	
1/18	13:30-15:00	龍谷大学	浄土真宗の歴史ー親鸞から龍谷大学までー	
2/8	13:30-15:00	京都先端科学大学	ニホンミツバチの興味深い生態ー 外来のセイヨウミツバチと野生のニホンミツバチの違いー	

全て土曜日開講で、会場は第2講義室(定員250名)で実施する。

(11) 今後の課題について

今後、大学は18歳を中心とする人口層だけでなく、社会人の継続的な学び「リカレント教育」への対象拡大が急務となっている。本財団の第5ステージプランの課題として社会人・職業人の継続的な学びにおける大学教育の役割を考え、加盟校によるリカレント教育の積極的な取組みを促進する事業案を検討する。

以上

2019（令和元年）年度京カレッジ後期出願について

京カレッジでは、後期（秋学期）に開講する科目のうち、科目提供大学から報告のあった科目を対象に、以下のとおり後期出願の受付を行う。

記

<後期出願科目発表>

○発表日：7月18日（木）

○発表方法：大学コンソーシアム京都ホームページで発表

キャンパスプラザ京都、市役所、区役所、市立図書館で募集ガイドを配布

<出願受付>

○出願期間：8月13日（火）～24日（土）

・郵送受付期間：8月24日（土）必着

・持参受付時間：8月24日（土）10時～16時 キャンパスプラザ京都

<広報>

「2019年度 京カレッジ後期出願ガイド」で後期開講募集科目を紹介し、財団ホームページに掲載するほか、同ガイドをキャンパスプラザ京都、市役所・市立図書館で配布する。

<出願受付科目>

20 大学・短期大学 76 科目（科目は「2019年度京カレッジ後期出願募集科目」参照）

<後期出願・履修手続>

【財団】HP 及び簡易冊子にて出願受付科目発表	7/18（木）
【財団】出願受付	郵送 8/13（火）～8/24（土）必着
	持参 8/24（土） 受付時間 10:00～16:00
【財団】e 京都ラーニングに出願者のデータをアップロード、科目開設大学に出願票・出願書類を発送、出願者データをメール送信	8/31（土）
【科目開設大学】出願選考の上、選考結果及び手続き案内書類等を出願者に送付	9月上旬～中旬
【科目開設大学】履修可否及び成績番号を e 京都ラーニングへ入力	9/26（木）17:00 まで
【e 京都ラーニング】履修可否結果をメールにより自動配信（アドレス登録者のみ）	9/27（金）5:00 以降
【科目開設大学】履修手続状況を財団に報告	10月中旬まで
履修手続完了者に対し、財団より「京カレッジ会員証」を送付	10月中旬発送 仮会員証は11/30 まで有効

以 上

2019年度 京カレッジ 後期募集科目一覧<テーマ別>

テーマ	科目コード	科目名	開講大学	後期募集人数	募集ガイド掲載ページ
A. 京（みやこ）を学ぶ	A013	伝統産業概論Ⅱ	京都工芸繊維大学	28	50
	A107	伝統産業に学ぶ	華頂短期大学	3	55
	A109	京都の伝統産業	平安女学院大学	9	55
	A110	京都学特殊講義Ⅴ「京都の美術」	立命館大学	募集なし	56
B. 歴史を学ぶ	B119	王朝文化論	京都先端科学大学	7	66
	B121	妖怪文化論B	京都先端科学大学	10	67
	B122	西洋音楽史Ⅱ	京都市立芸術大学	募集なし	69
	B123	西洋美術史2	京都市立芸術大学	募集なし	69
	B124	東洋美術史概説2（中国絵画通史2）	京都市立芸術大学	募集なし	70
	B125	陶磁器工芸史2	京都市立芸術大学	募集なし	70
	B126	日本音楽史Ⅱ	京都市立芸術大学	募集なし	71
	B127	日本美術史（彫刻）2	京都市立芸術大学	募集なし	71
	B129	建築遺産研究Ⅱ	京都橘大学	10	72
	B130	考古学概説Ⅱ	京都橘大学	10	72
	B131	考古学研究Ⅰ	京都橘大学	10	73
	B133	日本年中行事論：日本の年中行事について考える	京都ノートルダム女子大学	5	74
	B136	複合領域科目2-92（北朝鮮の歴史と文化）	同志社大学	20	74
	B137	観光人類学	平安女学院大学	10	75
	B138	旅行の歴史	平安女学院大学	9	76
	B139	西洋法史	立命館大学	10	76
	B140	特殊講義（専門Ⅰ）「映像文化のアーカイブ」	立命館大学	20	78
	B141	経済学史	龍谷大学	募集なし	79
C. 文化・芸術を学ぶ	C003	マンダラと梵字2B	種智院大学	5	81
	C005	特殊講義（専門Ⅸ）「ジャパン・コンテンツの悠久と先端」	立命館大学	5	82
	C127	音楽学特講b	京都市立芸術大学	募集なし	91
	C136	合唱Ⅰ	京都教育大学	7	92
	C137	造形教育概論	京都教育大学	4	93
	C139	デザイン論	京都市立芸術大学	募集なし	94

2019年度 京カレッジ 後期募集科目一覧<テーマ別>

テーマ	科目コード	科目名	開講大学	後期募集人数	募集ガイド掲載ページ
C. 文化・芸術を学ぶ	C140	音楽学特講 f マタイ受難曲テキストに見るプロテスタント思想	京都市立芸術大学	募集なし	94
	C141	音楽学特講i	京都市立芸術大学	募集なし	95
	C142	民族音楽学Ⅱ b	京都市立芸術大学	募集なし	95
	C147	アーツマネジメント論	京都橘大学	5	96
	C149	映画論：女性映画	京都ノートルダム女子大学	10	97
	C151	アートマネジメント論	京都文教大学	10	98
	C156	アメリカ文学史	同志社女子大学	募集なし	98
	C157	映像表現論	同志社女子大学	募集なし	99
	C161	観光文化論	平安女学院大学	10	100
D. ことば・言語を学ぶ	D124	TOEICⅡ	京都光華女子大学	10	104
	D127	アラビア語	京都ノートルダム女子大学	3	105
	D128	外国語教育論Ⅱ	同志社女子大学	募集なし	106
	D130	教義学講読D2	龍谷大学	15	107
	D131	仏教聖典学概論B	龍谷大学	30	107
E. 教育・人生観を学ぶ	E005	親鸞に学ぶ	大谷大学	募集なし	111
	E006	密教瞑想入門―真言宗の実践行法と密教瞑想の意義、そして、阿字観の方法論と実習―	種智院大学	10	112
	E007	坐禅入門Ⅱ	花園大学	20	112
	E008	キャリア開発 2	佛教大学	10	113
	E009	法然の生涯と思想	佛教大学	5	114
	E127	浄土教史概説	大谷大学	募集なし	119
	E128	人間学Ⅱ－16	大谷大学	募集なし	120
	E132	児童・生徒のための日本語教育論 B	京都教育大学	4	121
	E134	特別支援教育基礎理論	京都教育大学	5	121
	E135	日本語教育方法論	京都教育大学	5	122
	E140	アジア教育文化論（2）	同志社大学	若干名	123
	E149	性と人権：自分も相手も大切に。性について人権という観点から考える。	龍谷大学	人数無制限	123
	E150	人間関係の心理臨床	京都美術工芸大学	募集なし	124
	E504	保育内容指導法	京都西山短期大学	80	127

2019年度 京カレッジ 後期募集科目一覧<テーマ別>

テーマ	科目コード	科目名	開講大学	後期募集人数	募集ガイド掲載ページ
F. 生活・健康・スポーツを学ぶ	F001	病気と薬	京都薬科大学	10	131
	F118	武道指導論	京都教育大学	5	135
	F119	医療経営入門	京都橘大学	10	136
	F120	薬の発明・発見史Ⅱ	同志社女子大学	募集なし	136
	F121	比較家族論	京都華頂大学	5	137
G. 自然・環境を学ぶ	G136	学校園における農園芸実習Ⅱ	京都教育大学	募集なし	147
	G138	人間情報処理入門	京都産業大学	若干名	148
	G139	森林の科学	京都府立大学	1	149
	G140	びわ湖・滋賀学	龍谷大学	人数無制限	149
	G142	環境と人間 A	龍谷大学	20	150
	G143	環境経済学	龍谷大学	10	151
	G145	環境社会学：公害・開発から環境問題へ、そして「環境の商品化」へ	龍谷大学	人数無制限	151
	G146	植物生理・生化学Ⅰ	龍谷大学	20	152
	G147	食と嗜好の科学	龍谷大学	20	153
	G148	日本・京滋の食料と農業	龍谷大学	20	153
H. 現代社会を学ぶ	H149	白書で学ぶ現代日本	京都先端科学大学	7	177
	H150	ソーシャルビジネス	京都光華女子大学	10	178
	H151	情報技術の理解	京都光華女子大学	9	179
	H153	環境ガバナンス論	京都産業大学	5	181
	H154	被害者政策	京都産業大学	若干名	181
	H157	いのちのリレー講座Ⅱ	京都ノートルダム女子大学	20	182
	H158	特別支援教育基礎理論	京都ノートルダム女子大学	募集なし	183
	H159	服飾心理学	京都ノートルダム女子大学	募集なし	183
	H160	インターネットと人権	京都府立大学	5	184
	H161	アパレル流行論	京都文教大学	10	185
	H162	観光ビジネス論	京都文教大学	7	185
	H163	観光政策論	京都文教大学	8	186
	H164	現代観光論（コンテンツツーリズム概論）	京都文教大学	10	187

2019年度 京カレッジ 後期募集科目一覧<テーマ別>

テーマ	科目コード	科目名	開講大学	後期募集人数	募集ガイド掲載ページ
H. 現代社会を学ぶ	H165	公共経済学	京都文教大学	9	187
	H167	企業分析 2	同志社大学	30	188
	H170	資本市場の役割と証券投資	同志社大学	20	190
	H171	消費者問題	同志社大学	7	190
	H180	地方自治法	立命館大学	10	191
	H182	コミュニティ論	龍谷大学	人数無制限	192
	H183	まちづくり論	龍谷大学	人数無制限	193
	H184	メディアと倫理：ジャーナリズムの道徳的ジレンマ	龍谷大学	人数無制限	194
	H185	刑事政策	龍谷大学	10	195
	H186	社会企業論：社会的企業によるコミュニティ・エンパワメント	龍谷大学	人数無制限	196
	H187	地方財政論	龍谷大学	10	197
	H188	地方自治論	龍谷大学	募集なし	198
	H189	地方自治論	龍谷大学	10	199
	H197	地域研究概論	京都文教大学	10	201
I. 国際関係を学ぶ	I112	国際ビジネス	同志社大学	5	207
	I114	アメリカ地域研究 B	同志社女子大学	募集なし	208
	I116	民族文化誌	立命館大学	募集なし	208
	I119	国際協力論	龍谷大学	募集なし	210
J. 市民教養講座	J013	京都橘大学看護学部看護国際フォーラム「ケアリングとテクノロジー ～看護の未来を考える～」	京都橘大学	募集なし	221
	J024	京都橘大学総合研究センター レジリエンス・シンポジウム「京都が京都であり続ける社会の創造にむけて」	京都橘大学	募集なし	226
	J025	HSK対策講座(5級)	立命館大学	5	226
	J026	速成ビジネス中国語	立命館大学	5	227
K. 京都力養成コース	K005	古都探訪「みやこ」をとりまく文化・文学・歴史	京都精華大学	募集なし	233
	K006	うま味の文化と科学～京都の種麴屋に、和風調味料の原点をみる～	放送大学 (京都学習センター)	募集なし	234

2020 年度京カレッジ「市民教養講座開設補助費」の公募について

「市民教養講座開設補助金」（以下「講座開設補助金」という。）は、京都市と大学コンソーシアム京都が主催する「京カレッジ」で提供する市民教養講座の特色化を図るために 2016 年度から新たに開設しました。「講座開設補助金」は、京カレッジ「市民教養講座」の「京都力養成コース」及び「教養力養成コース」に提供される講座を対象に支給されます。京都駅前という集客しやすい立地を生かし、大学・短期大学の社会貢献、研究成果の発信、FD活動、PR活動の一環として、また、生涯学習の新たな分野の講座開設に「講座開設補助費」をご活用ください。

※ 講座を開設した加盟校へは、「京都力養成コース」「教養力養成コース」ともに、講座運営補助として一律 100,000 円、講師料補助（1 コマ）として 22,274 円（上限あり）を支給します。

なお、公募の詳細につきましては別冊『「プラザ科目」「プラザ推奨科目」・「京カレッジ市民教養講座開設補助費」ガイド』にある公募要領でご確認ください。ご不明な点など申請について何かありましたら京カレッジ担当までご連絡ください。

記

1. 応募期間

2019 年 7 月 25 日（木）～10 月 10 日（木）

2. 応募方法

期間内に別紙「市民教養講座開設補助金申請書」（様式 1）を郵送または持参にて 1 部提出してください。

3. 提出先

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都内
公益財団法人 大学コンソーシアム京都 京カレッジ担当 宛

4. スケジュール

7 月 12 日（金）	【財団】「単位互換・京カレッジに関する事務担当者会議」にて公募告知
7 月中旬	【財団】各加盟大学へ応募要項・申請書をメールで送付
10 月 10 日（木）	【科目開設大学】「市民教養講座開設補助金申請書」提出締め切り
11 月上旬	【財団】審査・選考
11 月中旬	【財団】採択結果を申請団体に通知
12 月下旬～1 月中旬	【科目開設大学】シラバスの作成
3 月中～下旬	【財団】京カレッジ出願期間
3 月下旬	【科目開設大学】出願選考、受講可否について出願者に通知
5 月～1 月	【科目開設大学】随時、講座開講
5 月末	【科目開設大学】「講座開設補助金申請書」提出
講座終了後	【科目開設大学】「プログラム実施報告書」提出

以 上

2019年6月25日 教育事業企画検討委員会（第1回）

大学コンソーシアム京都におけるリカレント教育の推進方針と検討委員会の発足について

教育事業企画検討委員会

1. 大学コンソーシアム京都のリカレント教育の定義とビジョンについて

「リカレント教育」とは、諸外国においては「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学とフルタイムの就職を繰り返すことであるが、これまで日本においては「働きながら学ぶこと」の全般を指すことが多かった。これについて、文部科学省・中教審「2040年度に向けた高等教育のグランドデザイン」にも見られるように、現在議論となっているリカレント教育は、「現役で働く人・世代」が、教養的なものよりも、様々な職種での力量形成を含めた「働くこと」に係る学び直しや継続的な学びを指している。これを今次財団で検討するリカレント教育の定義とする。

京都の大学においては、ほぼ全ての大学が生涯学習講座として正規生以外の社会人を対象とした教養系を中心とした公開講座を開講しており、これは財団の京カレッジ事業に見られるように、シニア層の増加に伴い、科目等履修制度や履修証明プログラムを含めて拡大・多様化している。

一方、「働くこと」に係る社会人向けのプログラムについては、仕事に係る教養系のものを含めて、大学院を中心に社会人の入学や履修の仕組みを持つ大学は多く、またいくつかの大学では通信教育課程（学部・大学院）、専門職大学院、また夜間での開講等において、働くことに係る社会人へのプログラム提供が行われている。ただし、それら正規生は履修期間や時間の確保が難しいこと、授業料等コストが高いこと等から一部の社会人の利用に留まっている傾向がある。また比較的履修時間が短い学校教育法に基づく履修証明プログラムも、働くことに関するものは開設自体が少ない状況にある。これについて大学側から見ると、現役で働く社会人の労働環境からプログラム受講生の見込みが難しいことや、担当教員の設定等がコストを含めて容易でないことなどから、現在以上の事業展開とはなっていないと考えられる。

しかしながら、今後さらなる社会変革が見込まれる中、現役で働く社会人がその変革に伴う様々な課題に対応して生きるためには、継続的に力量形成をしていく必要性が社会的な論点となっており、大学はその学びの場としてさらに機能していくことが求められている。これは現在の学生にとっても、現役で働く社会人の課題と接することや協働する機会が広がることから、新たな社会的活動などに繋がるものである。さらには、今後、18才人口を対象にした大学経営はいよいよ厳しいことから、各加盟校においてはこれまで以上に具体策を講じる必要に迫られることは想像に難くない。

このことから、財団の第5ステージプランの柱1「大学間連携による学びの提供と充実」において、生涯学習事業として加盟校等におけるリカレント教育の実践促進を重要事項としている。この推進について、以下をビジョンとして目指すものとする。

<財団のリカレント教育推進のビジョン>

10年後の京都の大学が、「生涯を通して学びたいときに学びたいものを学ぶための大学」として、多くの社会人の知的好奇心に応えることに留まらず、各年齢段階の多様な職業、社会での様々な役割を持つ人に対して、人生の現在と未来において、どのように仕事をしていくかという学びの場として

も機能していること。このリカレント教育の展開によって、「大学のまち京都、学生のまち京都」として、「学生と社会人の学び合い」が盛んに行われ、そこで取り組まれる新たな価値の創造を通じて、京都の各大学が持続的に人材育成力を高めていること。

財団はこのビジョンの下、加盟校支援と加盟校の取り組みをリードする事業を行う。

2. リカレント教育企画検討委員会の発足について

これらのビジョンに基づき財団が実施する具体的な事業を検討するため、本専門委員会のもとに企画検討委員会を発足する。

委員会の名称：「リカレント教育企画検討委員会」

※教育事業企画検討委員会（財団専門委員会）の下に設定するワーキング的委員会として設置する。

現在「京都学講座」の毎年度の講座内容の決定と調整について「京都学企画検討委員会」が同様の位置づけで運営されている。

3. リカレント教育企画検討委員会で検討する内容と実施期間について

(1) 本委員会での検討事項は以下の2点である。

1) 本ビジョンに基づき具体的に行う財団事業の内容について

①加盟校が実施するリカレント教育の広報等の支援

②今後の加盟校による取り組みをリードするリカレント教育プログラム等の検討

2) 実施する事業の方法、スケジュール、広報他の実施に必要なことについて

なお、2020年度から事業の一部を開始できるように検討する。

(2) 本委員会の実施期間について

2019 年度からの第 5 ステージプラン期間に、毎年度実施計画を策定し順次実施するため、2023 年度までの 5 年間とする。その後の継続等は別途検討する。

(3) 検討する事業例について ※実施の可否等を含めて検討を行う。

1) 加盟校が行っているリカレント教育事業の広報等の支援について

①加盟校によるリカレント教育プログラムの社会人向け、企業・団体への広報企画

②加盟校によるプログラムの企画・実施を促進する補助について等

2) 今後の加盟校の取り組みをリードするための財団による先導的・実験的な事業について

①仕事や働くことに係り財団が試行する新規プログラム案の検討

②学生と社会人の学び合いや各種業界との関連を促進するリカレント教育の検討等

③リカレント教育の展開に必要な実務者等を対象とした講師養成に係る検討等

3) その他、リカレント教育の促進に係る施策について

①リカレント教育に関するニーズ調査や加盟校間の懇談・情報交換、研修の実施

②キャンパスプラザ京都でのプログラム実施に係る保育サービス等の可能性他

4. リカレント教育企画検討委員会の委員について

大学教職員、企業関係者、行政関係者から以下の役割を求めて委員を依頼する。委員は 10 名以内程

度とする。

- ・大学教職員：未来の社会形成に果たす大学教育の役割や、京都全体における大学での継続的な社会人の学びの促進にむけて、社会人教育の実績等から知見と提案を求める。
- ・企業関係者：現代的諸問題に対応するための企業等による人材育成や社会人の継続的な学びに必要なこととの係りから知見と提案を求める。
- ・行政関係者：持続可能な社会形成に必要な市民、企業等団体、行政の学びを促進する視点から知見と提案を求める。

なお、必要に応じて委員以外の有識者が会議に参加できるものとする。

5. 2019 年度関連委員会のスケジュールについて

- 6 月 第 1 回教育事業企画検討委員会 ※考え方提起、意見交換
- 7 月 第 1 回単位互換・京カレッジ事務担当者会議での検討状況の報告
委員委嘱
リカレント教育企画検討委員会（第 1 回）開催
・財団の実施方針、2019 年度事業・施策についての検討
- 10 月 リカレント教育企画検討委員会（第 2 回）開催
・2020 年度実施事業・施策案の調整
- 11 月 第 2 回教育事業企画検討委員会
・2020 年度実施事業・施策の承認
第 2 回単位互換・京カレッジ事務担当者会議での実施施策の連絡
- 12-1 月 2020 年度実施施策のプログラム調整・確定
- 2 月 2020 年度京カレッジ、他広報手段による市民向けプログラム広報開始

6. 財団指定調査課題での委託研究の実施について

2019 年度の財団指定調査課題として、以下の委託研究が決定され現在実施されている。リカレント教育企画検討委員会の検討においては、ここでの研究成果も活用する。

研究テーマ：京都におけるリカレント教育推進に果たす大学コンソーシアム京都の役割
～京都モデルの構築に向けて～

研究機関・代表者：京都女子大学 竹安栄子氏（特命副学長・地域連携研究センター長）

研究期間：2019 年 4 月～2020 年 3 月 委託研究費：150 万円

7. その他

- (1) 財団の委員は加盟校派遣が多く、その場合委員謝金は無く、交通費の支払いは派遣校に対応を依頼している。しかし、加盟校でない企業等の委員については交通費等の支払いを検討する必要がある。
- (2) この委員会の発足によって、2015 年度教育事業企画検討委員会にて発足することとした「生涯学習事業企画検討会議」（生涯学習・公開講座の連携事業の検討を主たる目的）については、2016 年度での第 4 ステージプラン中間評価と 2017 年度からの 5 ステージプラン策定を経た中で、本委員会の発足に変更する。

以 上

大学コンソーシアム京都加盟校・団体 リカレント教育プログラム一覧

2019.6.10調査現在

No.	大学名	分野	課程・開講形態	課程名・科目名	開講部局	仕事度	習得資格
1	京都大学	教育	履修証明プログラム	学校経営ディレクター資格プログラム		仕事系	履修証明書
1	京都大学	教養・芸術	履修証明プログラム	アジア・アフリカ地域研究入門	大学院	教養系	履修証明書
1	京都大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
1	京都大学	エグゼクティブ		エグゼクティブリーダーシッププログラム		仕事・教養	
1	京都大学	企業・大学協定型	都市交通政策技術者養成コース	・都市交通政策フロントランナー講座 ・低炭素都市圏政策論 ・都市交通政策マネジメント	大学院	仕事系	修了認定証
1	京都大学	専門職	専門職大学院	法科大学院、医学、公共政策、経営管理の各研究科	大学院	仕事系	各修士(専門職)※ 法科は法務博士(専門職)
2	京都教育大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
2	京都教育大学	教育	専門職大学院	大学院連合教職実践研究科	大学院	仕事系	教職修士(専門職)
3	京都工芸繊維大学	伝統工芸	履修証明プログラム	京都の伝統産業・文化の学び		教養系	履修証明書
3	京都工芸繊維大学	社会人総合型	夜間主コース※2016募	先端科学技術課程		仕事・教養	
4	京都市立芸術大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
5	京都府立大学	食・栄養	科目等履修制度	和食の文化と科学プログラム		教養系	
5	京都府立大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共政策士プログラム	大学院	仕事系	地域公共政策士
6	京都府立医科大学	医療・介護	履修証明プログラム	緩和ケアを促進する看護師養成プログラムA		仕事系	履修証明書
7	福知山公立大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	初級地域公共政策士プログラム		仕事系	初級地域公共政策士
8	池坊短期大学						
9	大谷大学	教育	幼保特例制度 対応プログラム	・教育制度論 教育相談(幼)		仕事系	幼稚園教諭免許状
9	大谷大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
10	大谷大学短期大学部	教育	幼保特例制度 対応プログラム	保健と食と栄養		仕事系	保育士資格
11	京都医療科学大学	医療・介護	学部	医療科学部放射線技術学科(社会人入試)		仕事系	
12	京都外国語大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
12	京都外国語大学	語学		外国語講座		仕事・教養	
13	京都外国語短期大学						
14	京都華頂大学	教養・芸術	履修証明プログラム	京都学学修プログラム		教養系	履修証明書
15	華頂短期大学						
16	京都看護大学	医療・介護	学部・大学院	看護学部、看護学研究科	大学院	仕事系	学士
17	京都経済短期大学						
18	京都光華女子大学	教育	幼保特例制度 対応プログラム	・保育・教育課程論 乳児保育		仕事系	幼稚園教諭免許状 保育士資格
18	京都光華女子大学	女性活躍	履修証明プログラム	リカレントプログラム(卒業生対象:子供・介護・看護分野)		仕事系	履修証明書
19	京都光華女子大学短期大学部	女性活躍	履修証明プログラム	リカレントプログラム(卒業生対象:子供・介護・看護分野)		仕事系	履修証明書
20	京都産業大学	社会人総合型	通信教育課程	京都文化学研究科	大学院	仕事・教養	修士
20	京都産業大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共政策士プログラム	大学院	仕事系	地域公共政策士
20	京都産業大学	社会人総合型	通信教育課程	経済学研究科	大学院		修士・博士
20	京都産業大学	イノベーション・起業	大学院	マネジメント学研究科	大学院		修士・博士
20	京都産業大学	女性活躍	履修証明プログラム	働きたい人を応援するリカレントブログ			履修証明書
21	京都女子大学	女性活躍 外国語	履修証明プログラム	・京都英語案内マイスター養成プログラム ・仏教プログラム ・中国語と英語プログラム ・京都の歴史と文学プログラム		仕事・教養	履修証明書
21	京都女子大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
22	京都精華大学	教養・芸術	履修証明プログラム	・造形入門 漫画文化論入門 ・ポピュラー音楽入門 日本文学探求 ・日本史探求 人文学から現代社会の多様性を考える		教養系	履修証明書
22	京都精華大学	伝統工芸	科目等履修制度	京都の伝統工芸講座		仕事系	
22	京都精華大学	女性活躍	履修証明プログラム	メディアを使って働くための講座		仕事系	履修証明書
22	京都精華大学	伝統工芸	科目等履修制度	京都の伝統工芸講座			
23	京都西山短期大学	教育	幼保特例制度 対応プログラム	・教職論 保育内容指導法 福祉と擁護		仕事系	幼稚園教諭免許状 保育士資格
24	京都先端科学大学						
25	京都造形芸術大学	教養・芸術	通信教育課程	通信教育部、芸術教養学科、大学院芸術研究科			
26	京都橘大学	教育	リカレント講座	気になるこどもの育ちと支援		仕事系	
26	京都橘大学	医療・介護	リカレント学習講座	看護実践の中で直面するジレンマへの対応		仕事系	
26	京都橘大学	社会人総合型	通信教育課程	・たちばなエクール 臨床心理学 社会・産業心理学 ・発達・教育心理学 行動神経科学		仕事・教養	学士
26	京都橘大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	初級地域公共政策士プログラム		仕事系	初級地域公共政策士
26	京都橘大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
27	京都ノートルダム女子大学	教育	幼保特例制度 対応プログラム	子どもの家庭支援論(特例)		仕事系	保育士資格
27	京都ノートルダム女子大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
28	京都美術工芸大学						

大学コンソーシアム京都加盟校・団体 リカレント教育プログラム一覧

2019.6.10調査現在

No.	大学名	分野	課程・開講形態	課程名・科目名	開講部局	仕事度	習得資格
29	京都文教大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	初級地域公共政策士プログラム		仕事系	初級地域公共政策士
29	京都文教大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
30	京都文教短期大学						
31	京都薬科大学	医療・介護		臨床研究支援セミナー他		仕事系	
31	京都薬科大学	医療・介護		リカレント研修調剤業務基礎研修講座	校友会		
32	嵯峨美術大学	教養・芸術	履修証明プログラム	芸術学部 社会人特別研修プログラム		仕事・教養	履修証明書
33	嵯峨美術短期大学	教養・芸術	履修証明プログラム	美術学科 社会人特別研修プログラム		仕事・教養	履修証明書
34	種智院大学						
35	成安造形大学						
36	同志社大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共マネジメント	大学院	仕事系	履修証明書
36	同志社大学	中小企業経営	履修証明プログラム	中小企業・地域経営	大学院	仕事系	履修証明書
36	同志社大学	イノベーション・起業	大学院	総合政策科学研究科	大学院	仕事系	修士・博士
36	同志社大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共政策士プログラム	大学院	仕事系	地域公共政策士
36	同志社大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
36	同志社大学	食・栄養	履修証明プログラム	食農政策士	大学院	仕事系	
36	同志社大学	企業・大学協定型		京都産業21：成長のための経営戦略講座2018	大学院	仕事系	
36	同志社大学	専門職	専門職大学院	法科大学院、ビジネス研究科	大学院	仕事系	各修士（専門職）※ 法科は法務博士（専門職）
37	同志社女子大学	女性活躍 教養・芸術 医療・介護・教育	履修証明プログラム	・こころの探求 ・京都を知る ・女性と社会・文化 ・子どもを知る ・食と栄養・健康 ・音楽の世界 ・メディアの世界 ・英米文化と社会 ・古典に学ぶ ・キリスト教と同志社 ・薬学up to date		教養系	履修証明書
38	花園大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
39	佛教大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共政策士プログラム	大学院	仕事系	地域公共政策士
39	佛教大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
39	佛教大学	社会人総合型	通信教育課程	全学部・大学院	大学院	仕事・教養	学士・修士・博士
40	平安女学院大学						
41	平安女学院大学短期大学部						
42	明治国際医療大学	医療・介護	通信教育課程	鍼灸学研究科	大学院	仕事系	修士
43	立命館大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	文化遺産防災 教育プログラム		仕事系	
43	立命館大学	イノベーション・起業	大学院	テクノロジーマネジメント研究科	大学院	仕事系	修士・博士
43	立命館大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
43	立命館大学	語学		CLA外国語講座		仕事・教養	
43	立命館大学	語学		孔子学院中国語講座		仕事・教養	
43	立命館大学	企業・大学協定型	履修証明プログラム	アグリカルチャー・マネジメント・プログラ	大学院	仕事系	履修証明書
43	立命館大学	専門職	専門職大学院	法科大学院、経営管理、教職の各研究科	大学院	仕事系	各修士（専門職）※ 法科は法務博士（専門職）
44	龍谷大学	教育	履修証明プログラム	矯正・保護教育プログラム		仕事系	履修証明書
44	龍谷大学	まちづくり・地域活性化	履修証明プログラム	地域公共政策士プログラム	大学院	仕事系	地域公共政策士
44	龍谷大学	教育	教員免許状更新講習			仕事系	
45	龍谷大学短期大学部						
46	大阪医科大学	医療・介護		医療プロフェッショナル支援室、医療技能シミュレーション室プログラム		仕事系	
47	京都情報大学院大学	専門職	専門職大学院	応用情報技術研究科	大学院	仕事系	情報技術修士（専門職）
48	放送大学（京都学習センター）	社会人総合型	通信教育課程	大学・大学院		仕事・教養	
49	京都府						
50	京都市	教育		保育士等キャリアアップ研修			修了証
50	京都市	まちづくり・地域活性化		景観・まちづくり大学			修了証
50	京都市	まちづくり・地域活性化		京都景観エリアマネジメント講座			修了証
50	京都市	イノベーション・起業		イノベーション・キュレーター塾、A-			修了証
51	京都経営者協会	企業課題		労働関係・社会保険関係セミナー			修了証
52	一般社団法人京都経済同友会						
53	公益財団法人京都工業会	企業課題		各資格者養成講座 課題別研究会			修了証
54	京都商工会議所	企業課題		京商ビジネススクール			修了証

・現役で働く社会人対象のプログラムとして、大学院（特に仕事関連が目的なもの）、専門職大学院、通信教育課程、夜間主コース、履修証明プログラム、科目等履修制度（仕事系）、教員免許更新、語学系、その他を掲載した。なお、履修証明プログラム、通信制、科目等履修には一部に教養系も含まれている。

・教養系の市民講座、生涯学習講座（科目等履修を含む）は掲載していない。

・夜間に開講授業がある学部についてここには掲載していない。

1. リカレント・プログラムの供給拡充

多様な教育プログラムの開発・実施

学習方法の多様化

【現状認識】

- プログラムの総数が少ない。
- 多くのプログラムは大都市圏で開講されており、地域的な偏りがある。
- 内容として実践的なものが少ない。

【検討の方向性】

- 産学連携の教育プログラムの作成、実施の抜本的な増加により全国展開。
- 短期かつ魅力的なプログラムの開発を促進するための制度の改善
 - ①職業実践的な短期プログラムの質保証と対象拡充等
＜プログラム作成への産業界の参画促進などの質保証、短期プログラムの対象化等＞
 - ②履修証明制度の見直し、単位累積加算制度の利用促進等
- 放送大学、MOOC等における実務型オンライン講座の大幅拡充

2. 実践的な教育を行える人材の確保

多様な教育プログラムの開発・実施

【現状認識】

- プログラムを企画・実施できる教員の確保が課題。
- 「実務家教員」は学生への教育経験が少ない。
- 現役の実務家は時間を捻出するのが困難。
- 個々の大学での「実務家教員」確保は困難。

【検討の方向性】

- 大学等での教育経験のない者に対しては、研修を義務づけることにより、実務家教員の指導力を向上（質の確保）。＜研修プログラムの開発・受講促進＞
- プログラムの実施に必要な実務家教員を円滑かつ容易に確保できる仕組みの整備（量の確保）。＜人材共有のためのプラットフォームの創設＞
- 最先端で活躍している実務家が指導しやすい環境の整備。

3. 受講しやすい環境の整備

教育効果の見える化

【現状認識】

- リカレント教育の認知度、切迫感が低い。
- リカレント教育に参加する時間・費用の捻出が困難。
- 学んだ成果が見えにくく、企業等で評価されない。

【検討の方向性】

- 学んだ効果の見える化。＜習得できる知識・技能等、質保証の要件の明確化＞
- リカレント教育関連の情報に接する機会の拡大。
- 経済的コストの軽減。＜雇用保険制度・税制等との連携＞

4. これらを支える機運醸成

- ①産業界におけるプログラムの開発・実施への参画
- ②社会人の学びの積極的な支援・評価
- ③離職女性のキャリア形成への意識の醸成

23

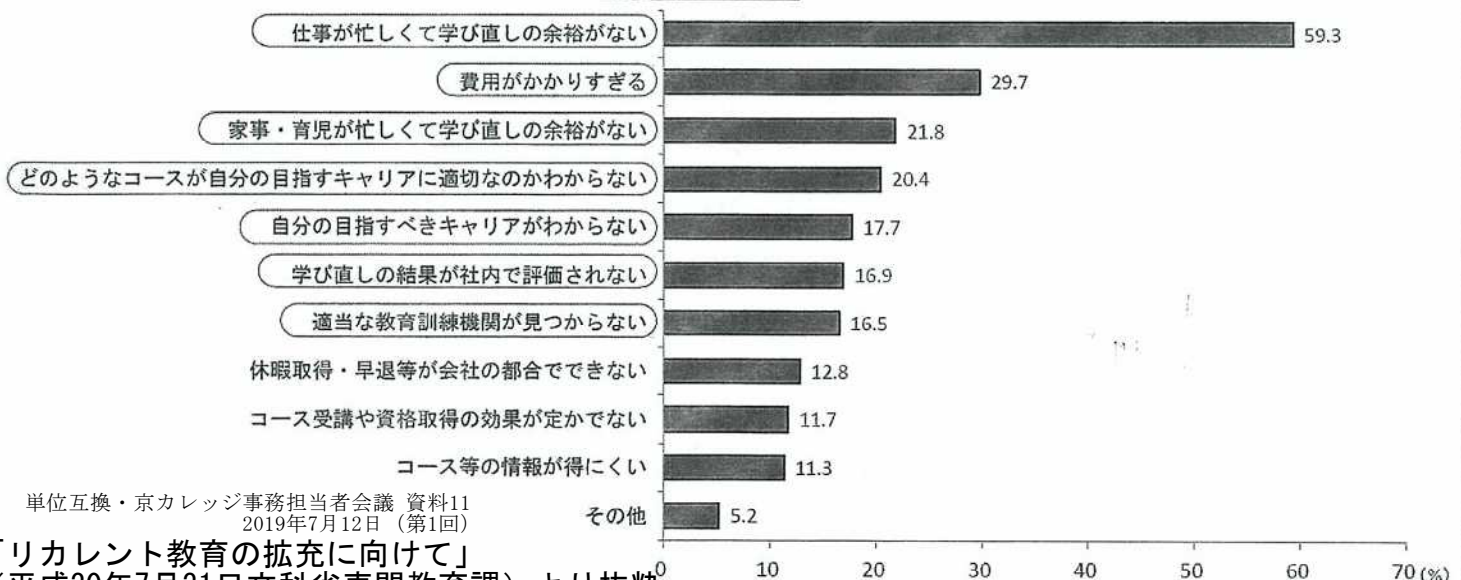
正社員の学び直しの障害

- 7割強の労働者が学び直しに問題を抱えていると回答。
- 多いものは、「仕事が忙しくて学び直しの余裕がない」、「費用がかかりすぎる」が2大問題点。

学び直しに問題があるとした労働者（正社員）及びその問題点の内訳（複数回答）

問題がある: 78.4%

【問題点の内訳】



単位互換・京カレッジ事務担当者会議 資料11
2019年7月12日（第1回）

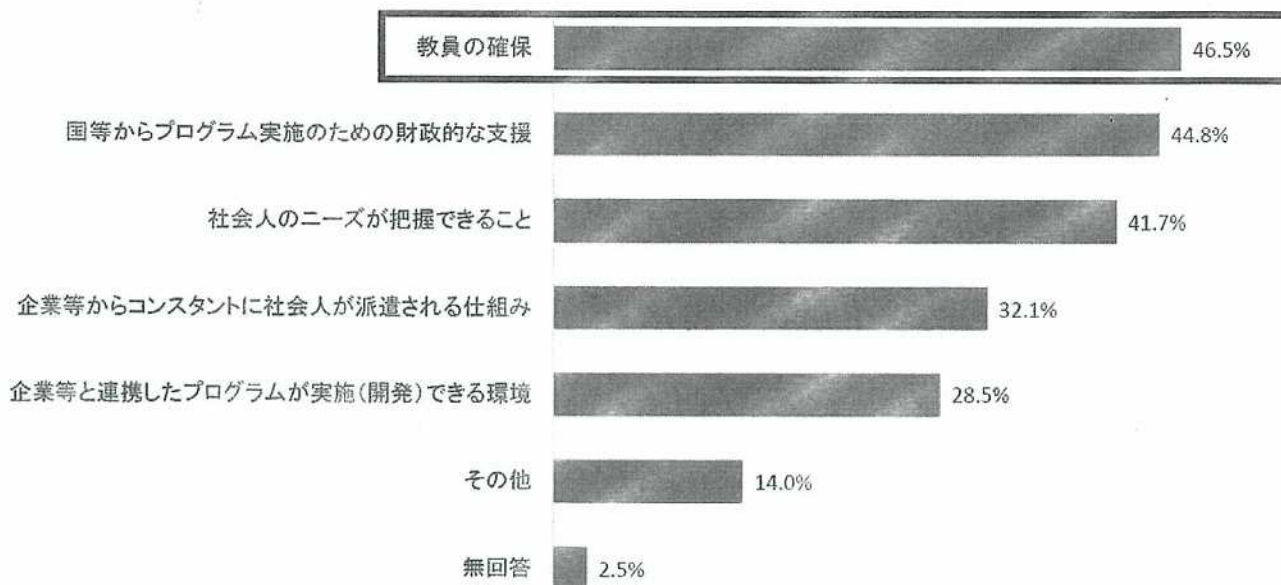
「リカレント教育の拡充に向けて」
(平成30年7月31日文科省専門教育課) より抜粋

(出典) 厚生労働省「平成28年度能力開発基本調査」(調査対象年度は平成27年度)より作成。

○大学が社会人を対象とするプログラムを提供するには、教員の確保が課題。

主に社会人を対象としたプログラムを提供していない学部・学科・研究科におけるプログラムを提供するための条件（複数回答）

【調査対象：2,592学部・学科・研究科】



（出典）社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究（平成27年度イノベーション・デザイン＆テクノロジー株式会社
＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞）より作成。

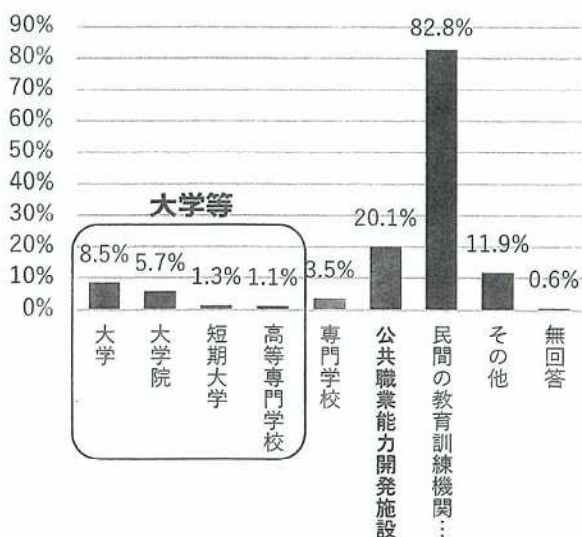
30

企業の外部教育機関としての大学の位置付け

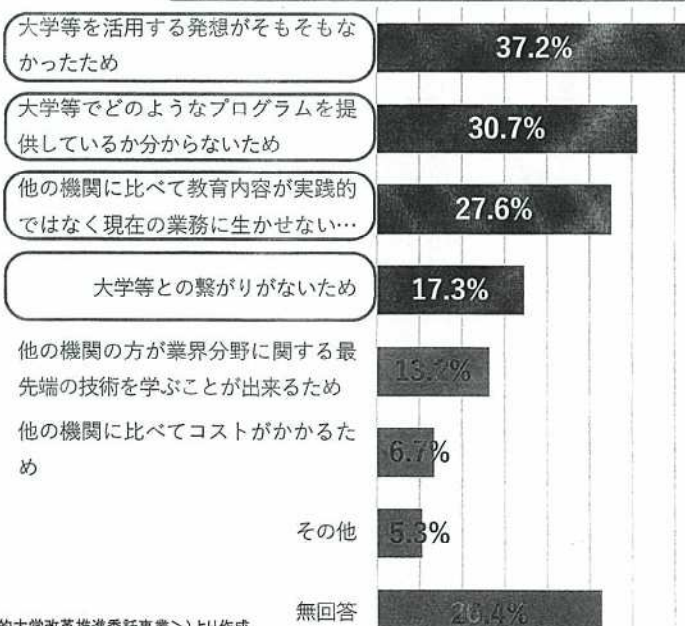
○企業の8割が外部教育機関として民間の教育訓練機関を活用。一方、大学を活用するのはごくわずか。

○大学を活用しない理由の上位は「大学を活用する発想がそもそもなかった」、「大学でどのようなプログラムを提供しているかわからない」。

活用する外部教育機関の種別（複数回答）



大学等を活用しない理由



（出典）社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究
（平成27年度イノベーション・デザイン＆テクノロジー株式会社＜文部科学省：先導的・大学改革推進委託事業＞）より作成。

○岩手大学「いわてアグリフロンティアスクール」

「リカレント教育の拡充に向けて」

(平成30年7月31日文科省専門教育課) より抜粋

【概要・目的】 経営感覚・企業家マインドを持って経営革新、地域農業の確立に取り組む先進的な農業経営者等を養成。

【プログラムの特徴】 修了論文である「農業ビジネス戦略計画」の策定、経営管理、生産管理等の科目で構成。試験研究機関や農業団体、先進農家等の実務家講師を中心に、講義のほか実習・演習、現地研修などを実施。

【受講期間】 1年

【社会人の受講しやすい工夫】 農繁期以外に開講、補講等



○東京電機大学「国際化サイバーセキュリティ学特別コース」

【概要・目的】 ICTシステム管理者・開発者やサイバーセキュリティ技術者等を対象に、サイバーセキュリティの技術だけでなく、法律や倫理等の関連する分野の教育を行い、高度な専門家を養成。

【プログラムの特徴】 サイバーセキュリティに関する法・倫理、インシデント対応、サイバーディフェンス等の科目で構成され、関連企業の実務家による授業、グループワークや実践演習などを実施。

【受講期間】 1年

【社会人の受講しやすい工夫】 夜間・週末開講、長期履修可



○日本女子大学「リカレント教育課程」

【概要・目的】 出産等のライフイベントで離職した女性へのキャリア教育を通して、高い技能・知識と働く自信・責任感を養い、再就職までを一貫してを支援。

【プログラムの特徴】 受講生のエンployアビリティ（働く自覚と自信・社会性・責任感・コミュニケーション能力）の再開発を目的とした科目に加えて、英語やITリテラシーを必修。その他、企業会計、簿記、金融、これからの社会で特に必要される業種（貿易実務、内部監査実務、記録情報管理者、社会保険労務士、消費生活アドバイザー）の準備講座を開設。

【受講期間】 1年

【社会人の受講しやすい工夫】 週末の開講、長期休暇期間における集中開講、IT活用、補講の実施、託児サービスの実施等



10

各大学における取組事例②

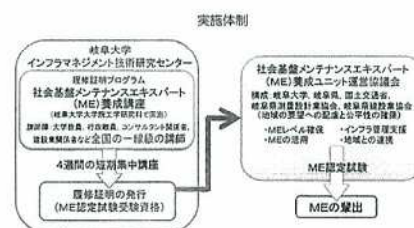
○岐阜大学「社会基盤メンテナンスエキスパート（ME）養成講座」

【概要・目的】 行政と建設業界双方の土木技術者の技術向上を目指し、県と協働で、共通の高度な知識を持った総合技術者を養成。

【プログラムの特徴】 フィールド実習等の実践的な授業に加え、実務に即した講義を実現し、最新技術を修得するため、大学教員だけでなく、関連企業をはじめとした全国の一線級の技術者を講師として招聘。

【受講期間】 約1ヶ月

【社会人の受講しやすい工夫】 受講者勤務先と連携した学修環境の確保、地域全体での講座の社会的評価の向上等



○大阪大学「ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム」

【概要・目的】 ナノ科学技術分野に従事、または将来の従事を志す企業の研究者・技術者を対象とする大学院レベル9単位分のプログラムで、ナノ分野の最先端高度知識を基礎から学び、ナノ科学技術を生かした新産業を自ら切り開く知識と挑戦力を養成。

【プログラムの特徴】 ナノエレクトロニクス・ナノ材料学、超分子・ナノバイオ学等の科目で構成され、先端の実験や企業で役立つ実践的実験、企業開発担当者による講義、グループ討議などを実施。

【受講期間】 1年

【社会人の受講しやすい工夫】 夜間・週末開講、遠隔授業等



○高知大学「土佐フードビジネスクリエーター人材創出事業（土佐FBC）」

【概要・目的】 高知県の食品産業の中核を担う専門人材及び拡充に資する基礎人材を育成。

【プログラムの特徴】 食品製造・加工、マーケティング、実験技術、課題研究等の科目で構成され、連携企業等の実務家による講義やグループディスカッション、企業視察研修、企業の商品開発などをOJTで実施。

【受講期間】 1～2年

【社会人の受講しやすい工夫】 夜間開講、補講、一部の受講料を支援等



11